

# かながわグラウンドデザイン

評価報告書2019

令和2年7月

## 目 次

<b>1 評価の概要</b>	1
評価の概要	3
凡例	6
<b>2 総合計画審議会の評価</b>	<b>9</b>
<b>3 プロジェクトの評価</b>	<b>11</b>
柱Ⅰ 健康長寿	12
1 未病	
2 医療	
3 高齢者	
4 障がい児・者	
柱Ⅱ 経済のエンジン	28
5 エネルギー	
6 産業振興	
7 観光	
8 農林水産	
柱Ⅲ 安全・安心	44
9 減災	
10 治安	
11 安心	
柱Ⅳ ひとのチカラ	56
12 男女共同参画	
13 子ども・青少年	
14 学び・教育	
15 文化芸術	
16 スポーツ	
17 雇用	
柱Ⅴ まちづくり	80
18 地域活性化	
19 多文化共生	
20 協働連携	
21 自然	
22 環境	
23 都市基盤	

# 1 評価の概要



## 評価の概要

### 「かながわグランドデザイン」とは

県では、県政運営の総合的・基本的指針を示す総合計画として、2012年に「かながわグランドデザイン基本構想」（以下「基本構想」という。）及び「かながわグランドデザイン実施計画」（以下「実施計画」という。）を策定するとともに、2015年には「かながわグランドデザイン第2期実施計画」（以下「第2期実施計画」という。）を策定し、超高齢社会への対応や確実に到来する人口減少社会への備え、また東日本大震災の教訓を生かした防災対策の強化など、様々な課題への対応を着実に進めてきました。

そうした中で、「第2期実施計画」は、2018年度に最終年度を迎えたことから、政策全般について点検を行った結果、「基本構想」策定時の社会環境については、変化の傾向が継続していることや、国連において採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の理念と県がこれまで進めてきた取組みは、軌を一にするものであることが確認できました。こうしたことから、県は今後も「基本構想」の方向性に沿って政策を推進することとし、「かながわグランドデザイン第3期実施計画」（以下「第3期実施計画」という。）を策定して取り組むこととしました。

#### 基本構想

目標年次 2025年

##### ▼基本理念

#### 「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

##### ▼神奈川県の将来像

○行ってみたい、住んでみたい、

人を引きつける魅力あふれる神奈川

○いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川

○県民総力戦で創る神奈川

##### ▼政策の基本方向

○政策展開の基本的視点

○政策分野別の基本方向

○地域づくりの基本方向



#### 第3期実施計画

計画期間 2019～2022年度

##### ▼プロジェクト編(重点政策)

○プロジェクト

- ・柱Ⅰ 健康長寿
- ・柱Ⅱ 経済のエンジン
- ・柱Ⅲ 安全・安心
- ・柱Ⅳ ひとのチカラ
- ・柱Ⅴ まちづくり



プロジェクト編

○かながわグランドデザインとSDGs

○神奈川の戦略

○計画推進のための行政運営

○プロジェクトの指標・KPI

○プロジェクトと主要施策との関係

○参考 神奈川をとりまく状況

##### ▼主要施策・計画推進編(政策の包括的な全体像)

○主要施策(政策分野別の体系/地域別の体系)

○計画推進



主要施策・  
計画推進編

## 「政策のマネジメント・サイクル」とは

計画を着実に推進し、進行管理を行っていくためには、実施計画に示した施策の実施状況について政策評価を行い、その評価に基づき政策運営の改善を図る「政策のマネジメント・サイクル」を確立し、効率的・効果的な政策運営を行うことが必要です。そこで、県では、次のような仕組みにより、政策運営を図っていきます。



## 評価報告書作成の趣旨

県では、「政策のマネジメント・サイクル」に基づき、2019年度のKPIの進捗状況などにより政策評価を実施し、政策運営の改善に取り組むとともに、政策評価の結果を公表し、幅広く県民の皆さんのご意見をいただくために評価報告書を作成しました。

## 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応

2019年に中国で発生した新型コロナウイルス感染症が、我が国においても、首都圏を中心に感染拡大が続く中、2020年4月7日、国は新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条に基づく緊急事態宣言を出し、緊急事態措置を実施すべき区域の1つに神奈川県を指定しました。

県は、政府対策本部の対処方針で示された重要事項を基に、県全域を対象として、県民の外出の自粛や、多数の方が利用する施設の利用の制限等を要請するなどの緊急事態措置を行いました。

また、県では「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」を策定し、2020年2月26日から8月31日までの期間について、「全部局・任命権者が新型コロナウイルス感染症対策本部体制の下、急を要しない業務の中止や見直しを行い、医療崩壊を防ぐための取組みや県民の経済・雇用対策に注力する」こととし、全庁を挙げて新型コロナウイルス感染症に対応することとなりました。

「第3期実施計画」の進行管理については、2019年11月に総合計画審議会計画推進評価部会から政策評価のあり方が示されたところですが、こうした非常事態に対応するため、上記基本方針の下、2019年の政策評価は、県の事業部局による一次評価の省略などの業務の見直しを図りました。

総合計画審議会からは、KPIの進捗状況等に対する評価やプロジェクトを推進する上での課題等の意見をいただき、評価報告書の客観性を確保しました。

# 凡例

柱の名称

プロジェクト番号

プロジェクト名とサブタイトル

柱番号

柱

健康長寿  
プロジェクト  
**1**

## 未病

～いくつになっても笑いがあふれる元気に生き生きとくらせる神奈川～

健
政
国
ス
環
福
産
土
教

SDGs(持続可能な開発目標)の17のゴール(目標)のうち、プロジェクトに関連するゴールを示しています。

プロジェクトの「とりまとめ局」及び「関連局」をマークで示しています。(詳細は、下欄を参照。)

### プロジェクトの背景やねらい

▶ **プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱**

- ⇒ 構成施策A .....
- ⇒ 構成施策B .....
- ⇒ 構成施策C .....

プロジェクトの背景やねらいを示しています。

プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱である構成施策を示しています。

### 指標の動向

○ 平均自立期間(日常生活動作が自立している期間の平均)【暦年】<厚生労働科学研究>

	男性	女性
2018年度		
2019年度		
2022年度(目標値)		

○ 特定健康診査・特定保健指導の実施率<厚生労働省調べ>

	特定健康検査の受診率	特定保健指導の実施率
2018年度		
2019年度		
2022年度(目標値)		

プロジェクトの達成度を象徴的に表す数値を、参考に示しています。県民、NPO、企業、大学、団体、市町村などの多様な主体による活動や、社会・経済状況など様々な要因によって変動する可能性があります。

プロジェクトのとりまとめ局及び関連局のマーク一覧  
※プロジェクトをとりまとめる局等を、一番左に表示しています。

政	政策局	総	総務局	安	くらし安全防災局
国	国際文化観光局	ス	スポーツ局	環	環境農政局
福	福祉子どもみらい局	健	健康医療局	産	産業労働局
土	県土整備局	企	企業庁	教	教育委員会
警	警察本部	全	全部局		



「かながわランドデザイン 第3期実施計画 プロジェクト編」に記載したプロジェクトのKPIと、進捗状況をプロジェクト編の構成施策ごとに示しています。

「暦年」で調査している統計などは【暦年】と表示しています。  
 ※表示の無いKPIは「年度」で集計している数値です。  
 ※「暦年」で調査している統計であっても、計画上は年度ごとに目標を設定しているため、「年度」と表示している箇所があります。

**KPIの進捗状況**

**A ライフステージに応じた未病対策**

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 「未病改善」の取組みを行っている人の割合(%)	2018			
	2019			
	2020			
	2021			
	2022			
② オーラルフレイル健口(けんこう)推進員数(総数)(人)	2018			
	2019			
	2020			
	2021			
	2022			

「プロジェクトに関する取組み」や「統計データ」、「個別計画」などに関連するホームページの名称とURLを記載しています。

**プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報**

- .....  
<https://www.pref.kanagawa.jp/>.....
- .....  
<https://www.....>

総合計画審議会からの意見を示しています。

**総合計画審議会からの意見**

- ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○する必要があります。
- ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○する必要があります。

**\*KPIについて**

- ・ KPI(重要業績評価指標) Key Performance Indicatorの略称で、実施した施策・事業の進捗状況や達成の度合いを測るため、毎年度の目標値を示しています。県の取組みによる直接的な成果のほか、県の取組みが間接的に影響し達成される成果もあります。
- ・ 実績値は、2020年5月31日時点で把握できている数値を記載しています。



## **2 総合計画審議会の評価**

## 総合計画審議会委員・特別委員からの意見

○ 今後のプロジェクトを進捗するに当たり留意すべき課題等は、以下のとおりです。

### 【柱Ⅰ 健康長寿】

- ・未病改善の取組みにおける社会参加の機会づくりの重要性
- ・人々の間に社会的距離が取られる中で、支援を受けられずに孤立する高齢者が増えることへの懸念 など

### 【柱Ⅱ 経済のエンジン】

- ・ベンチャー企業などへの支援により更なる産業創出を促進していく必要性
- ・観光客満足度の向上による潜在的なりpeat客増大への期待 など

### 【柱Ⅲ 安全・安心】

- ・市町村やNPO・ボランティア団体、事業者等と連携した自助・共助の取組みへの更なる支援
- ・地域安全活動や被害防止に向けた広報啓発活動の質的担保の必要性 など

### 【柱Ⅳ ひとのチカラ】

- ・支援を必要とするこどもの早期発見や、つながりやすい関係・機会づくりの重要性
- ・乳幼児期における身体作り対策をより一層取り組む必要性 など

### 【柱Ⅴ まちづくり】

- ・小網代の森における環境学習など児童・生徒を対象とした取組みの一層の充実
- ・既存ストックを効率的に活用し、維持管理していくための公民連携・役割分担・権限移譲等についての新たな仕組みを検討していく必要性 など

○ また、新型コロナウイルス感染症による影響をはじめとした社会環境のさまざまな変化や「新しい生活様式」への対応を踏まえ、従来の手法や考え方にとらわれることなく、これまでの取組みの見直しや新たな施策の展開を図る必要があります。さらにより多くの県民に県の政策を知ってもらうため、これまで以上に効果的な情報発信に取り組むことを期待します。

### 3 プロジェクトの評価

評価に当たっては、事業部局によるK P Iの進捗状況の確認を行うとともに、総合計画審議会から意見を聴取しました。

柱 I	健康長寿	<b>未病</b> ～いくつになっても笑いがあふれ元気に生き生きとらせる神奈川～	健 政 国 ス 環 福 産 土 教
	プロジェクト 1		
			

## プロジェクトの背景やねらい

超高齢社会を迎えている中、子どもから高齢者まで誰もが笑って元気に生き生きとらせることが重要であり、SDGsのゴールにも通じています。

そこで、すべての世代が未病を自分のこととして考え、「かながわ未病改善宣言」に基づき、「食・運動・社会参加」の3つを柱とする未病改善に取り組めるよう、企業、団体、市町村などと連携しながら、ライフステージに応じた対策や、気軽に実践するための環境づくりなどを推進します。推進に当たっては、ヘルスケア分野において社会システムの革新を起こす人材の育成や、健康に関する様々なデータ分析や活用を行うなど、より効果的なものとなるよう取り組みます。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A ライフステージに応じた未病対策
- ⇒ 構成施策B 未病改善を支える社会環境づくり
- ⇒ 構成施策C 健康情報の活用による効果的な施策の推進

## 指標の動向

○ 平均自立期間(日常生活動作が自立している期間の平均)【暦年】<厚生労働科学研究>

	男性	女性
2016 年度	79.98 年	83.91 年
2022 年度(目標値)	81.85 年	85.08 年

○ 特定健康診査・特定保健指導の実施率<厚生労働省調べ>

	特定健康検査の受診率	特定保健指導の実施率
2016 年度	51.0%	13.6%
2017 年度	52.5%	14.4%
2022 年度(目標値)	67.2%	40.6%

## KPIの進捗状況

### A ライフステージに応じた未病対策

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 「未病改善」の取組みを行っている人の割合(%)	2018		58.3	
	<b>2019</b>	<b>70.0</b>	<b>83.3</b>	<b>119.0%</b>
	2020	75.0	—	—
	2021	80.0	—	—
	2022	85.0	—	—
② オーラルフレイル健口(けんこう)推進員数(総数)(人)	2018		1,335	
	<b>2019</b>	<b>1,395</b>	<b>1,452</b>	<b>104.0%</b>
	2020	1,455	—	—
	2021	1,515	—	—
	2022	1,575	—	—

### B 未病改善を支える社会環境づくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 未病センターの利用者数(人)	2018		353,717	
	<b>2019</b>	<b>369,000</b>	<b>491,630</b>	<b>133.2%</b>
	2020	381,000	—	—
	2021	393,000	—	—
	2022	405,000	—	—
② 県立保健福祉大学などにおける公開講座・市民大学受講者数(人)	2018		2,746	
	<b>2019</b>	<b>3,020</b>	<b>4,150</b>	<b>137.4%</b>
	2020	3,100	—	—
	2021	3,180	—	—
	2022	3,270	—	—

### C 健康情報の活用による効果的な施策の推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 未病指標利用者数(累計)(人) 【2019年度は目標値・実績値なし】	2018		—	
	<b>2019</b>	—	—	—
	2020	10,000	—	—
	2021	50,000	—	—
	2022	150,000	—	—
② CHO 構想推進事業所登録数(総数)(事業所)	2018		414	
	<b>2019</b>	<b>600</b>	<b>603</b>	<b>100.5%</b>
	2020	1,000	—	—
	2021	1,500	—	—
	2022	2,000	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- かながわ健康プラン21の推進  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/healthpromotion/plan21/>
- 未病の改善(健康寿命の延伸をめざして)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/f480290/>
- 未病センター～未病改善でスマイルエイジング～  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/f480290/mibyoucenter.html>
- かながわ未病改善協力制度  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/f480290/p754591.html>
- 神奈川県食育推進計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/3plan.html>
- かながわ食の安全・安心の確保の推進に関する指針  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/cnt/f6576/p19080.html>
- 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/f470151/>
- オーラルフレイル健口(けんこう)推進員  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/s001/oralfrail-kenko-suishin.html>
- かながわ自殺対策計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/cnt/f123457/top.html>
- ヘルスケア・ニューフロンティア推進プラン  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f533119/senryaku.html>
- 未病指標  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/mebyo-index.html>
- アプリ「マイME-BYOカルテ」で未病を改善！  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f532715/p991437.html>
- CHO(健康管理最高責任者)構想  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f532717/>
- 神奈川県糖尿病対策推進プログラム(かながわ糖尿病未病改善プログラム)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n5p/cnt/f537485/>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 社会関係資本が乏しくなりがちな現代社会では、未病改善の取組みにおける社会参加の機会づくりが重要になります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応で、外出自粛により活動が低下した高齢者の身体機能の回復が今後の課題になります。





柱 I	健康長寿	医療 ～最先端医療・最新技術の追求と安心できる地域医療の充実～	健 政 福 産 教
	プロジェクト 2		

## プロジェクトの背景やねらい

超高齢社会が到来している中で、県民が必要な最先端医療を含む医療サービスを受けながら、慣れ親しんだ地域で笑いがあふれる生活ができる社会の構築が求められています。

そこで、再生医療等製品などの実用化・普及の促進や重粒子線治療など最先端医療の推進に取り組むとともに、地域に根ざした医療の充実や医療人材の育成・確保を図るなど地域医療構想の推進に取り組み、介護とも緊密に連携する中で、誰もが必要なときに身近な地域で質の高い医療を安心して受けられる医療先進県をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 最先端医療の推進・最新技術の追求
- ⇒ 構成施策B 地域医療の推進
- ⇒ 構成施策C 医療人材の育成・確保

## 指標の動向

○ 地域医療が充実している二次保健医療圏の数(県内の二次保健医療圏は9圏域)(総数)

＜県医療課調べ＞

2015年度	3圏域
2016年度	2圏域
2017年度	2020年6月頃把握予定
2022年度(目標値)	9圏域

○ 75歳未満の10万人当たりのがんによる死亡数【暦年】

＜国立がん研究センターがん対策情報センター調べ＞

2018年度	70.2人※
2022年度(目標値)	63.1人

※計画策定時は推計値を記載(69.8人)

## KPIの進捗状況

### A 最先端医療の推進・最新技術の追求

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県の支援を受けて、県内に集積する最先端医療関連のベンチャー企業数(総数)(社)	2018		28	
	2019	30	33	110.0%
	2020	50	—	—
	2021	55	—	—
	2022	60	—	—
② 重粒子線治療患者数(人)	2018		271	
	2019	500	480	96.0%
	2020	660	—	—
	2021	760	—	—
	2022	780	—	—

### B 地域医療の推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 訪問診療を実施している診療所・病院数(総数)(箇所)  ※ <sup>1</sup> 推計値(国が公表しているデータでは、県内の一部市町村の診療所・病院数が確認できないため) ※ <sup>2</sup> 推計値は、2021年6月把握予定	2017		1,395※ <sup>1</sup>	
	2018		1,426※ <sup>1</sup>	
	2019	1,782	※ <sup>2</sup>	—
	2020	1,876	—	—
	2021	1,962	—	—
	2022	2,057	—	—
② 風しんの予防接種者報告件数(累計)(件)	2018		96,287	
	2019	145,000	144,223	99.4%
	2020	209,000	—	—
	2021	272,000	—	—
	2022	283,000	—	—

## ③ 医療人材の育成・確保

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 地域枠医師の県内就業人数(総数) (人)	2018		36	
	2019	52	49	94.2%
	2020	68	—	—
	2021	86	—	—
	2022	102	—	—
② 在宅医療に携わる看護職員の養成数 (県内の訪問看護ステーションに従事 する看護職員数)(総数)(人)  ※調査結果の公表が大幅に遅れてい るため、確定値の把握時期未定	2018		3,161 (推計値※)	
	2019	3,411	3,450 (推計値※)	101.1%
	2020	3,661	—	—
	2021	3,911	—	—
	2022	4,161	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 75歳未満の10万人当たりのがんによる死亡数(国立がん研究センターがん対策情報センター)  
[http://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/stat/age-adjusted.html](http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/age-adjusted.html)
- 神奈川県保健医療計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t3u/cnt/f742/dainanaji.html>
- 神奈川県がん対策推進計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p676694.html>
- 神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/cnt/f7596/>
- ヘルスケア・ニューフロンティア推進プラン  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f533119/senryaku.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 新型コロナウイルス感染症の対応により、経営が困難となった診療所や個人病院、さらに心身の負担により離職を考える医療従事者に対する支援が今後の課題になります。



柱 I	健康長寿	<b>高年齢者</b> ～高齢者が安心して、元気に、生き生きとくらす神奈川をめざす～	福 政 国 ス 健 産 土 教
	プロジェクト 3		

## プロジェクトの背景やねらい

神奈川は全国屈指のスピードで高齢化が進んでいます。介護や支援が必要な高齢者が増えることが予想されるとともに、一人暮らしの高齢者などの社会的な孤立が懸念されています。一方、高齢者も支えられる側としてだけではなく、地域共生社会の実現に向けて、コミュニティの担い手としてその経験、知識、意欲を生かして活躍していくことが求められています。

そこで、地域包括ケアシステムの推進、認知症の人にやさしい地域づくり、未病改善などの健康・生きがいづくりに取り組み、高齢者が住み慣れた地域で安心して、元気に、生き生きと笑ってくらす社会の実現をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取り組みの柱

- ⇒ 構成施策A 地域包括ケアシステムの推進
- ⇒ 構成施策B 認知症の人にやさしい地域づくり
- ⇒ 構成施策C 健康・生きがいづくり

## 指標の動向

○ 死亡者のうち在宅で看取りを行った者の割合（在宅看取り率）＜県高齢福祉課調べ＞

2017 年度	15.2%
2018 年度	16.7%
2022 年度(目標値)	16.8%

○ 長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしている人の割合  
＜県民ニーズ調査＞

2018 年度	48.8%
2019 年度	67.8%
2022 年度(目標値)	60.0%

## KPIの進捗状況

### A 地域包括ケアシステムの推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 地域包括支援センター職員養成研修 (現任者研修)の修了者数(人)	2018		114	
	<b>2019</b>	<b>180</b>	<b>223</b>	<b>123.8%</b>
	2020	180	—	—
	2021	180	—	—
	2022	180	—	—
② 主任介護支援専門員養成者数 (累計)(人)	2018		1,167	
	<b>2019</b>	<b>1,767</b>	<b>2,040</b>	<b>115.4%</b>
	2020	2,367	—	—
	2021	2,967	—	—
	2022	3,567	—	—

### B 認知症の人にやさしい地域づくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 認知症サポート医の養成数(累計) (人)	2018		325	
	<b>2019</b>	<b>345</b>	<b>387</b>	<b>112.1%</b>
	2020	365	—	—
	2021	385	—	—
	2022	405	—	—
② 認知症キャラバンメイト養成者数 (計画期間中の累計)(人)	2018		—	
	<b>2019</b>	<b>200</b>	<b>214</b>	<b>107.0%</b>
	2020	400	—	—
	2021	600	—	—
	2022	800	—	—

### C 健康・生きがいづくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 住民主体の通いの場への参加者数 (人)  ※確定値は、2020年12月把握予定	2018		89,309	
	<b>2019</b>	<b>90,400</b>	<b>101,091</b> (速報値※)	<b>111.8%</b>
	2020	91,400	—	—
	2021	92,000	—	—
	2022	92,600	—	—
② 「かながわ人生100歳時代ポータル」 のページビュー数(PV)	2018		—	
	<b>2019</b>	<b>96,000</b>	<b>133,393</b>	<b>138.9%</b>
	2020	120,000	—	—
	2021	144,000	—	—
	2022	168,000	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 介護情報サービスかながわ  
<http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpJsearch.aspx>
- かながわ高齢者保健福祉計画について  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f300419/index.html>
- 県内の地域包括支援センター一覧  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f4301/index.html>
- かながわ認知症ポータルサイト  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f6401/index.html>
- 神奈川県×Peatix 特設ページ「好きかも！を見つけよう」  
<https://feature.peatix.com/100-year-life>
- 介護保険事業状況報告(厚生労働省)  
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/84-1.html>
- 日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)  
<http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応で、人々の間に社会的距離が取られる中、支援を受けられず孤立する高齢者が増えることが懸念されます。
- ・ 認知症の人にやさしい地域づくりの取組みとして、さらに地域に密着した県民の取組みを支援する必要があります。





柱 I	健康長寿	障がい児・者 ～誰もがその人らしくくらす地域社会の実現に向けて～	福 国 ス 健 産 土 企 教
	プロジェクト 4		

## プロジェクトの背景やねらい

「施設から地域へ」という障がい福祉施策の大きな流れの中で、障がい者の意思決定支援及び障がい児・者の生活を支える人材の育成やサービスの充実とともに、情報、移動、就労などの各分野で社会参加を妨げる様々な障壁(バリア)を取り除くことが課題となっています。さらに、2016年7月に県立の津久井やまゆり園で発生した痛ましい事件を機に、障がいに対する理解促進の重要性が改めて認識されることとなりました。

そこで、県では、園の再生に取り組むとともに、障がい児・者の生活を支えるサービスの充実や障がい児・者を取り巻く社会的障壁の排除、さらに、障がいに対する理解促進に取り組み、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念である誰もがその人らしくくらすことのできる地域社会の実現を、県民総ぐるみの体制でめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒構成施策A 障がい児・者の生活を支えるサービスの充実
- ⇒構成施策B 障がい児・者を取りまく社会的障壁の排除
- ⇒構成施策C 障がい及び障がい児・者に対する理解促進

## 指標の動向

○ 相談支援専門員による障害サービス等利用計画等作成率<厚生労働省調べ>

	障がい者	障がい児
2018年度	56.3%	48.1%
2019年度	2020年6月把握予定	
2022年度(目標値)	63.4%	55.8%

○ 障がい者に配慮した行動をとる人が増えたと思う人の割合<県民ニーズ調査>

2018年度	46.1%
2019年度	40.5%
2022年度(目標値)	50.0%

## KPIの進捗状況

### A 障がい児・者の生活を支えるサービスの充実

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県内のグループホームサービスの利用者数(人)  ※実績値は、2020年7月把握予定	2018		8,748	
	<b>2019</b>	<b>9,296</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	9,806	—	—
	2021	10,325	—	—
	2022	10,872	—	—
② 県内のホームヘルプサービスの利用者数(人)  ※実績値は、2020年7月把握予定	2018		16,088	
	<b>2019</b>	<b>17,775</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	18,969	—	—
	2021	20,164	—	—
	2022	21,434	—	—
③ 相談支援業務に従事する相談支援専門員数(総数)(人)	2018		1,365	
	<b>2019</b>	<b>1,418</b>	<b>1,486</b>	<b>104.7%</b>
	2020	1,548	—	—
	2021	1,678	—	—
	2022	1,808	—	—

### B 障がい児・者を取りまく社会的障壁の排除

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 手話講習会の実施事業所数(事業所)	2018		43	
	<b>2019</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>100.0%</b>
	2020	40	—	—
	2021	40	—	—
	2022	40	—	—
② 就労系3サービス(就労移行支援、就労継続支援A・B)のサービス利用者数(人)  ※実績値は、2020年7月把握予定	2018		15,888	
	<b>2019</b>	<b>17,871</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	19,502	—	—
	2021	21,237	—	—
	2022	23,127	—	—
③ 一般就労への移行者数(人)  ※実績値は、2020年7月把握予定	2017		1,248	
	2018		1,277	
	<b>2019</b>	<b>1,612</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	1,794	—	—
	2021	2,055	—	—
	2022	2,316	—	—

### ㉓ 障がい及び障がい児・者に対する理解促進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 「ともに生きる社会かながわ憲章」を「知っている」または「言葉は聞いたことがある」と答えた人の割合(%)	2018		17.0	
	2019	26.0	15.7	60.3%
	2020	34.0	—	—
	2021	42.0	—	—
	2022	50.0	—	—
② 障がい者への差別・偏見があると思う人の割合(%)  【目標値は減方向に設定】	2018		48.4	
	2019	47.0	66.6	70.5%
	2020	46.0	—	—
	2021	45.0	—	—
	2022	44.0	—	—
③ 心のバリアフリー推進員養成者数(人)	2018		70	
	2019	50	40	80.0%
	2020	50	—	—
	2021	50	—	—
	2022	50	—	—

### プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- かながわ障がい者計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f5076/index.html>
- 神奈川県障がい福祉計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/keikaku/syougaihusikeikaku.html>
- とともに生きる社会かながわ憲章  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/cnt/f535463/>
- 神奈川県医療的ケア児実態把握調査  
[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/ikea\\_chousa/index.htm](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/ikea_chousa/index.htm)
- 「かながわ工賃アップ推進プラン」における取り組みについて  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f5604/index.html>
- 障害者虐待防止・権利擁護のために  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f420445/>
- 神奈川県地域福祉支援計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f360599/>
- バリアフリーの街づくりについて  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/cnt/f6880/>
- 手話言語の普及推進  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/cnt/f537527/>
- 障害福祉情報サービスかながわ  
<https://www.rakuraku.or.jp/shienhi/>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 新型コロナウイルス感染症終息後の新たな社会ルールが生活・教育・社会参加におけるさらなる「障がい」につながる可能性があるため、社会全体で新たなルールへの対応が困難な方に対する理解を共有する必要があります。
- ・ 障がい者の社会的自立のため、就労機会をより一層拡大する必要があります。

柱 II	経済のエンジン	
	プロジェクト 5	
		

## プロジェクトの背景やねらい

東日本大震災を契機に導入が進んできた再生可能エネルギー等については、固定価格買取制度の見直しなどにより普及が厳しい状況にあります。国が「第5次エネルギー基本計画」においてその主力電源化を掲げたほか、自然災害による大規模停電をきっかけに、改めて再生可能エネルギー等の一層の導入と集中型電源から分散型電源への転換が求められています。

そこで、再生可能エネルギー等の導入加速化や、固定価格買取制度を活用しない自家消費型の太陽光発電への転換などに取り組み、災害時も停電のない、エネルギー自立型の住宅・ビル・街の実現をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 再生可能エネルギー等の導入促進
- ⇒ 構成施策B 安定した分散型エネルギー源の導入促進
- ⇒ 構成施策C 省エネルギーの促進とスマートコミュニティの形成

## 指標の動向

○ 県内の年間電力消費量の削減率(2010年度比) < 県エネルギー課調べ >

2017年度	8.2%削減
2018年度	10.2%削減
2022年度(目標値)	11.0%削減

○ 県内の年間電力消費量に対する分散型電源による発電量の割合 < 県エネルギー課調べ >

2017年度	13.3%
2018年度	15.7%
2022年度(目標値)	25.0%以上

## KPIの進捗状況

### A 再生可能エネルギー等の導入促進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 太陽光発電設備の導入量(総数) (万kw)  ※実績値は、2021年3月把握予定	2017		85.2	
	2018		92.2	
	<b>2019</b>	<b>320</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	365	—	—
	2021	410	—	—
	2022	455	—	—
② 太陽光発電に係るイベントなどへの来場者数(人)	2018		34,843	
	<b>2019</b>	<b>36,000</b>	<b>36,975</b>	<b>102.7%</b>
	2020	37,000	—	—
	2021	38,000	—	—
	2022	40,000	—	—

### B 安定した分散型エネルギー源の導入促進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① ガスコージェネレーションの導入量(総数)(万kw)  ※実績値は、2021年3月把握予定	2017		57.8	
	2018		67.9	
	<b>2019</b>	<b>92</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	108	—	—
	2021	113	—	—
	2022	118	—	—
② 水素ステーションの設置数(総数)(箇所)	2017		13	
	2018		13	
	<b>2019</b>	<b>19</b>	<b>13</b>	<b>68.4%</b>
	2020	25	—	—
	2021	30	—	—
	2022	35	—	—

### C エネルギーの促進とスマートコミュニティの形成

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 地球温暖化防止活動推進員の人数 (総数)(人)	2017		228	
	2018		228	
	<b>2019</b>	<b>250</b>	<b>230</b>	<b>92.0%</b>
	2020	260	—	—
	2021	270	—	—
	2022	280	—	—

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
② ZEHの設置数(累計)(件)	2017		1,559	
	2018		1,991	
	2019	20,000	2,620	13.1%
	2020	35,000	—	—
	2021	50,000	—	—
	2022	65,000	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- かながわスマートエネルギー計画の推進  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e3g/cnt/f300183/>
- 水素エネルギーの導入拡大に向けた取組  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e3g/cnt/f460114/>
- 地球温暖化防止活動推進員のページ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f430288/>
- 燃料電池実用化推進協議会「商用水素ステーション情報」  
<http://fccj.jp/hystation/index.html#hystop>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 省エネや創エネに関して意識・関心を引き続き高めていくため、幅広い年代の方へ啓発していく必要があります。
- ・ 経済活動が原油価格の下落に伴って化石燃料依存の姿勢に戻ることがないように、世界で急速に進みつつある水素社会への対応など、再生可能エネルギーの政策を長期的視点に立ってしっかりと推進していく必要があります。





柱 II	経済のエンジン	産 政 福 土
	プロジェクト 6 <b>産業振興</b> ～明日の県内経済を担う産業づくり～	

## プロジェクトの背景やねらい

AI、IoT、ロボットなどの第4次産業革命の波は、あらゆる産業・社会生活を劇的に変革する可能性を秘めており、経済発展と社会的課題解決を両立する新たな社会「Society5.0」が国において提唱されている中、産業構造の転換が一層進んでいくことが予測されます。また、少子高齢化の進展による人手不足や海外との競争の激化などから、企業経営は楽観視できない状況が続くと見込まれ、さらなる県内経済の活性化が求められています。

そこで、国家戦略特区をはじめとした特区制度なども活用し、最先端医療やロボットなどの成長産業の創出・育成を図るとともに、ベンチャー支援や企業誘致、企業経営の未病改善により、県内産業の活性化を図り、持続可能な県内経済の実現をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒構成施策A 成長産業の創出・育成
- ⇒構成施策B 企業誘致などによる産業集積
- ⇒構成施策C 県内企業の活性化

## 指標の動向

○ 企業経営の未病が改善した企業の割合（「未病 CHECK シート」をもとに、支援機関に相談した企業のうち、改善した企業の割合）＜県中小企業支援課調べ＞

2018年度	—
2019年度	把握時期未定
2022年度(目標値)	80.0%

○ 開廃業率の差(開業率から廃業率を引いた差)＜県中小企業支援課調べ＞

2017年度	3.9%
2018年度	0.7%
2022年度(目標値)	4.4%

## KPIの進捗状況

### A 成長産業の創出・育成

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 未病産業研究会を通じた未病産業関連商品の事業化件数(累計)(件) ※確定値の把握時期未定	2018		63	
	2019	75	75 (2月末時点見込み%)	100.0%
	2020	100	—	—
	2021	125	—	—
	2022	150	—	—
② 生活支援ロボットの商品化件数(件)	2018		6	
	2019	5	4	80.0%
	2020	5	—	—
	2021	5	—	—
	2022	5	—	—
③ ベンチャー企業に対する事業化支援の件数(件)	2018		10	
	2019	15	15	100.0%
	2020	25	—	—
	2021	30	—	—
	2022	35	—	—

### B 企業誘致などによる産業集積

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 企業立地支援件数(計画期間中の累計)(件)	2018		47	
	2019	50	50	100.0%
	2020	100	—	—
	2021	150	—	—
	2022	200	—	—
② 県内で進められている地域経済牽引事業件数(総数)(件)	2018		7	
	2019	18	17	94.4%
	2020	27	—	—
	2021	27	—	—
	2022	27	—	—

## ③ 県内企業の活性化

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 企業経営の未病に気づき支援機関に相談する企業数(企業) ※実績値は、把握時期未定	2018		—	
	2019	10,000	※	※
	2020	10,000	—	—
	2021	10,000	—	—
	2022	10,000	—	—
② 神奈川発新技術の実用化件数(累計)(件) ※確定値は、2020年7月把握予定	2018		135	
	2019	143	145 (速報値※)	101.3%
	2020	154	—	—
	2021	166	—	—
	2022	179	—	—
③ 企業への技術支援件数(累計)(件) ※確定値は、2020年7月把握予定	2018		104,225	
	2019	132,299	156,760 (速報値※)	118.4%
	2020	178,551	—	—
	2021	225,880	—	—
	2022	274,285	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- ヘルスケア・ニューフロンティア推進プラン  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f533119/senryaku.html>
- さがみロボット産業特区特設ページ  
<https://sagamirobot.pref.kanagawa.jp/>
- 地域未来投資促進法  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sr4/chiikimirai/chiikimirai01.html>
- 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)  
<https://www.kanagawa-iri.jp/>
- 「セレクト神奈川100」による立地企業一覧  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pw3/selectkanagawa100/20180405ichidu.html>
- 「セレクト神奈川NEXT」のご案内  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pw3/selectkanagawanext/index.html>
- 「セレクト神奈川NEXT」による立地企業一覧  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pw3/selectkanagawanext/ichiran.html>
- 企業経営の未病 CHECK シート  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jf2/mibyو/documents/checksheet.html>
- 神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jf2/chusho-keikaku.html>

- 神奈川県科学技術政策大綱  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/r5k/cnt/f360585/index.html>
- かながわ知的財産活用指針  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/r5k/cnt/f4898/p14384.html>

### 総合計画審議会からの意見

- ・ 新型コロナウイルス感染症による経済への影響を踏まえ、支援が必要な中小企業への対応に力を注ぐとともに、経済再生を円滑に進めるため、ベンチャー企業等を支援し、新規事業化・イノベーションの実現に繋げることで、更なる産業創出を促進していく必要があります。

柱 II	経済のエンジン	
	プロジェクト 7	

## プロジェクトの背景やねらい

観光産業は裾野が広く、神奈川の経済において重要な役割を担うことが期待されています。ラグビーワールドカップ 2019™ や東京 2020 大会の開催に向けて、国内外から観光客を呼び込む取組みを加速するとともに、その後の展開も見据えて、地域の活性化や雇用の促進などにつなげるため、持続可能で発展的な観光施策に取り組む必要があります。

そこで、魅力ある観光地の形成など、観光資源の発掘・磨き上げを進めるとともに、戦略的プロモーションの推進、受入環境の整備など、観光消費額の一層の増加につながる取組みを推進していくことで、誰もが訪れたいくなる「観光立県かながわ」の実現をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 観光資源の発掘・磨き上げ
- ⇒ 構成施策B 戦略的プロモーションの推進
- ⇒ 構成施策C 受入環境の整備

## 指標の動向

### ○ 観光消費額総額【暦年】＜観光庁 観光入込客統計に関する共通基準＞

2017 年度	1兆 610 億円
2018 年度	1兆 705 億円
2022 年度(目標値)	1兆 3,500 億円

### ○ 入込観光客数【暦年】＜神奈川県入込観光客調査＞

2017 年度	2億 69 万人
2018 年度	2億 26 万人
2022 年度(目標値)	2億 1,200 万人

### ○ 延べ宿泊者数【暦年】＜観光庁 宿泊旅行統計調査＞

2018 年度	2,302 万人泊
2019 年度	2,114万人泊(速報値※)
2022 年度(目標値)	2,600 万人泊

※確定値は、2020年6月把握予定

○ 外国人延べ宿泊者数【暦年】＜観光庁 宿泊旅行統計調査＞

2018年度	275万人泊
2019年度	294万人泊(速報値※)
2022年度(目標値)	320万人泊

※確定値は、2020年6月把握予定

## KPIの進捗状況

### A 観光資源の発掘・磨き上げ

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 新たな観光の核づくり地域入込観光客数【暦年】(万人)  ※実績値は、2020年7月把握予定	2017		344	
	2018		365	
	2019	356	※	※
	2020	362	—	—
	2021	368	—	—
	2022	374	—	—
② ナイトタイムエコノミー・早朝型観光向け観光資源数(総数)(件)	2018		—	
	2019	100	101	101.0%
	2020	150	—	—
	2021	180	—	—
	2022	200	—	—

### B 戦略的プロモーションの推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 民間事業者と連携したプロモーション事業数(計画期間中の累計)(件)	2018		—	
	2019	40	46	115.0%
	2020	80	—	—
	2021	120	—	—
	2022	160	—	—
② 「観光かながわNOW」宿泊施設紹介のページビュー数(PV)	2018		—	
	2019	100,000	2,315	2.3%
	2020	400,000	—	—
	2021	500,000	—	—
	2022	600,000	—	—
③ アンテナショップ「かながわ屋」来店者数(万人)	2018		6.8	
	2019	10	10.3	103.0%
	2020	11	—	—
	2021	12	—	—
	2022	13	—	—

### ③ 受入環境の整備

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 観光客満足度(%)	2018		60.0	
	<b>2019</b>	<b>63</b>	<b>68.7</b>	<b>109.0%</b>
	2020	66	—	—
	2021	70	—	—
	2022	70	—	—
② おもてなし人材育成人数(計画期間中の累計)(人)	2018		—	
	<b>2019</b>	<b>1,000</b>	<b>933</b>	<b>93.3%</b>
	2020	2,000	—	—
	2021	3,000	—	—
	2022	4,000	—	—

### プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 観光庁 宿泊旅行統計調査  
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>
- 観光庁 訪日外国人消費動向調査  
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syohuityousa.html>
- 日本政府観光局(JNTO) 訪日外客数の動向  
[https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor\\_trends/index.html](https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html)
- 神奈川県入込観光客調査  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ya3/cnt/f80022/p27746.html>
- 神奈川県観光客消費動向等調査  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ya3/cnt/f80022/p1185401.html>
- 神奈川県外国人観光客実態調査  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b6m/cnt/survey.html>
- 観光かながわNOW  
<https://www.kanagawa-kankou.or.jp/>
- 外国語観光情報ウェブサイト(Tokyo Day Trip -Kanagawa Travel Info-)  
<https://trip.pref.kanagawa.jp/>
- 神奈川県観光振興計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ya3/cnt/f80022/p27758.html>



## 総合計画審議会からの意見

- ・ KPI「観光客満足度」については、目標値を達成しており、潜在的なリピート客の増大が期待できます。
- ・ 各KPIは順調に進捗していますが、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく冷え込むことが予想されるため、今後はその対策に取り組む必要があります。

柱 II	経済のエンジン		環境産
	プロジェクト 8	<b>農林水産</b> ～農林水産業の活性化による地産地消の推進～	

## プロジェクトの背景やねらい

神奈川の農林水産業は、担い手不足や高齢化による経営体の減少が続いており、このままでは、県民の身近で営まれる農林水産業のメリットを生かした地産地消が立ち行かなくなる可能性があります。

そこで、持続可能な農業の促進などSDGsのゴールにも資する取組みとして、新規就業の促進や意欲ある経営体の育成支援、ICTやロボット技術を活用した生産技術の開発・普及など持続可能な経営基盤を確立するとともに、県民ニーズに応じた新鮮で安全・安心な農林水産物の提供を支援します。また、ブランド力の強化により、農林水産物の利用拡大を図ります。こうした取組みにより、農林水産業の活性化を図り、地産地消を推進します。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

⇒構成施策A 持続可能な経営基盤の確立

⇒構成施策B 農林水産物のブランド力の強化による利用拡大

## 指標の動向

### ○ 農林水産物の産出額【暦年】＜県農政課調べ＞

2017年度	915億円
2018年度	752億円
2022年度(目標値)	915億円

### ○ 「地元でとれた新鮮な野菜や魚を食べられること」に満足している人の割合＜県民ニーズ調査＞

2018年度	26.9%
2019年度	25.6%
2022年度(目標値)	28.0%

## KPIの進捗状況

### A 持続可能な経営基盤の確立

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 農林水産業への新規就業者数(人) ※実績値は、2020年7月把握予定	2018		100	
	<b>2019</b>	<b>136</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	137	—	—
	2021	141	—	—
	2022	141	—	—
② スマート農業技術導入戸数(累計) (戸)	2018		122	
	<b>2019</b>	<b>151</b>	<b>165</b>	<b>109.2%</b>
	2020	182	—	—
	2021	213	—	—
	2022	244	—	—
③ 資源管理に取り組む魚種数(総数) (種)	2018		16	
	<b>2019</b>	<b>17</b>	<b>17</b>	<b>100.0%</b>
	2020	18	—	—
	2021	19	—	—
	2022	20	—	—
④ 認定農業者等への農地集積率(%) ※実績値は、2020年6月末把握予定	2018		20	
	<b>2019</b>	<b>21</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	22	—	—
	2021	23	—	—
	2022	24	—	—

### B 農林水産物のブランド力の強化による利用拡大

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県産農畜水産物の販路拡大件数 (件) ※実績値は、2020年7月把握予定	2018		26	
	<b>2019</b>	<b>26</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	26	—	—
	2021	26	—	—
	2022	26	—	—
② 県産木材の利用量(m <sup>3</sup> )	2018		29,964	
	<b>2019</b>	<b>30,000</b>	<b>29,726</b>	<b>99.0%</b>
	2020	30,000	—	—
	2021	30,000	—	—
	2022	30,000	—	—

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
③ 「かながわブランド」の認知度(%)	2018		72.0	
	2019	74.0	69.7	94.1%
	2020	76.0	—	—
	2021	78.0	—	—
	2022	80.0	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- かながわブランドで地産地消！  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/vw7/brand/contentstop.html>
- かながわの都市農業  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/vw7/cnt/f6843/>
- 農業振興課ホームページ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f6k/>
- 女性農業者支援サイト「かながわなでしこ farmers」ホームページ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0520/nadeshikofarmers/>
- 農地中間管理事業のご案内  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/cnt/f531144/index.html>
- 畜産課ホームページ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/w5c/>
- かながわ県産木材について  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/xp8/shinrinsaisei/kanagawakennsanzai.html>
- かながわ森林塾について  
[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/xp8/sinrinjyuku/sinrinjyuku\\_top.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/xp8/sinrinjyuku/sinrinjyuku_top.html)
- 水産課ホームページ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/index.html>
- わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業(統計データ等)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/a2d/cnt/f6572/>
- かながわ農業活性化指針  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/vw7/cnt/f6843/p21679.html>
- かながわ水産業活性化指針  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/cnt/f790/p1008151.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ ICT、IoT及びAIの活用によるスマート農業及び水産技術の導入を推進する必要があります。



柱 Ⅲ	安全・安心	プロジェクト 9	減災 ～災害に強いかながわ～	安 全
				

## プロジェクトの背景やねらい

豪雨や台風による土砂災害や、洪水、高潮など、風水害による甚大な被害が全国各地で発生しています。また、神奈川では、切迫性が懸念されている南海トラフ地震や首都直下地震などの地震や津波、さらに火山噴火への対策も必要です。

そこで、災害発生時に県民や観光客などのいのちを守るため、地震災害対策推進条例に基づく自助・共助の取組みを促進するほか、防災関係機関の災害対応力の強化や、河川、土砂災害防止施設の整備、上下水道施設の耐震化などの防災・減災対策に継続的に取り組み、災害に強いかながわをめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒構成施策A 自助・共助の取組みの促進
- ⇒構成施策B 災害対応力の強化
- ⇒構成施策C 災害に強いまちづくり

## 指標の動向

- 大地震などの災害がおきても3日間は暮らせるように、防災の準備ができている人の割合  
 < 県民ニーズ調査 >

2018年度	38.8%
2019年度	33.5%
2022年度(目標値)	42.0%

- 「地震、台風、火災などへの対策が十分に整っていること」に関する満足度< 県民ニーズ調査 >

2018年度	13.5%
2019年度	9.9%
2022年度(目標値)	17.0%

## KPIの進捗状況

### A 自助・共助の取組みの促進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 「かながわシェイクアウト(いっせい防災行動訓練)」の参加人数(事前登録者数)(万人)	2018		207	
	2019	200	205	102.5%
	2020	200	—	—
	2021	200	—	—
	2022	200	—	—
② ディザスターシティを使用した訓練への消防団員及び自主防災組織の延べ参加人数(人)	2018		—	
	2019	2,300	2,357	102.4%
	2020	2,300	—	—
	2021	2,300	—	—
	2022	2,300	—	—
③ 迅速・円滑な避難を支える津波避難施設を整備拡充した県内沿岸市町数(累計)(市町)	2018		10	
	2019	11	12	109.0%
	2020	12	—	—
	2021	13	—	—
	2022	14	—	—

### B 災害対応力の強化

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 津波の被害が想定される県内沿岸市町の津波避難訓練の実施率(%)	2018		80	
	2019	100	86.6	86.6%
	2020	100	—	—
	2021	100	—	—
	2022	100	—	—
② ビッグレスキュー、かながわ消防などの訓練参加人数(人)	2018		1,300	
	2019	1,400	2,172	155.1%
	2020	1,500	—	—
	2021	1,600	—	—
	2022	1,700	—	—

### C 災害に強いまちづくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 護岸の整備延長(累計)(km)	2018		90.4	
	2019	90.7	90.7	100.0%
	2020	91.0	—	—
	2021	91.3	—	—
	2022	91.6	—	—

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
② 洪水調節施設の供用箇所数(累計) (箇所)	2018		5	
	2019	5	5	100.0%
	2020	6	—	—
	2021	7	—	—
	2022	7	—	—
③ 土砂災害防止施設の整備箇所数(計 画期間中の累計)(箇所)	2018		—	
	2019	10	18	180.0%
	2020	19		
	2021	29		
	2022	39		

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 日本シェイクアウト提唱会議 HP  
<https://www.shakeout.jp/>
- 「かながわ気候非常事態宣言」と「神奈川県水防災戦略」  
[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/sdgs/weather\\_declaration.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/sdgs/weather_declaration.html)
- 消防団の組織概要等に関する調査(令和元年度)の結果  
[https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/200210\\_chibou\\_01.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/200210_chibou_01.pdf)
- 神奈川県地域防災計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/cnt/f5150/>
- 神奈川県石油コンビナート等防災計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/a2p/cnt/f5050/p15002.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 「公助」とともに「自助」「共助」による備えができていると感じる県民が増えるよう、市町村やNPO・ボランティア団体、事業者等と連携して自助・共助の取組みへの支援をより一層進める必要があります。
- ・ KPI「津波の被害が想定される県内沿岸市町の津波避難訓練の実施率」を達成するには、市町村との更なる減災連携体制の強化が重要であり、市町村に対する啓発に引き続き取り組む必要があります。





柱 Ⅲ	安全・安心	<b>治安</b> ～犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり～	
	プロジェクト <b>10</b>		

## プロジェクトの背景やねらい

少子高齢化が進展する中、高齢者を狙った特殊詐欺や子ども・女性に対する犯罪の被害は依然として後を絶たず、また、コミュニケーションやビジネスにおける情報通信技術の活用が不可欠となる中でサイバー空間における脅威が増大しています。加えて、ストーカーや、配偶者からの暴力、児童虐待など、個人的な関係や家庭内などの私的領域で生じる事案に対しても、一人ひとりの安全を確保していくために、的確な対処が必要です。

そこで、犯罪の抑止・検挙活動の強化、人身安全関連事案に対する的確な対処を行うとともに、安全で快適な交通環境を整備することにより、県民が安全で安心してくらす地域社会の実現をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙
- ⇒ 構成施策B 交通事故の防止

## 指標の動向

○ 「犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」に関する満足度＜県民ニーズ調査＞

2018年度	26.6%
2019年度	21.0%
2022年度(目標値)	27.0%

○ 「今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ」と思う人の割合＜県民ニーズ調査＞

2018年度	65.9%
2019年度	61.7%
2022年度(目標値)	66.0%

## KPIの進捗状況

### A 県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 地域住民と連携した地域安全活動等の実施回数【暦年】(回)	2018		4,919	
	2019	5,000	5,588	111.7%
	2020	5,000	—	—
	2021	5,000	—	—
	2022	5,000	—	—
② サイバー犯罪の被害防止に向けた広報啓発活動【暦年】(回)	2018		1,291	
	2019	1,300	1,236	95.0%
	2020	1,300	—	—
	2021	1,300	—	—
	2022	1,300	—	—

### B 交通事故の防止

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 交通事故死者数【暦年】(人)	2018		162	
	2019	150 以下	132	113.6%
	2020	150 以下	—	—
	2021	150 以下	—	—
	2022	150 以下	—	—
② 交通安全教育の実施回数【暦年】(回)	2018		8,660	
	2019	9,400	8,334	88.6%
	2020	9,400	—	—
	2021	9,400	—	—
	2022	9,400	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 神奈川県警察 暮らしの安全情報  
<https://www.police.pref.kanagawa.jp/index2.htm>
- 神奈川県警察 統計  
<https://www.police.pref.kanagawa.jp/index7.htm>
- 暮らし安全交通課ホームページ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/div/0222/index.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ KPI「地域住民と連携した地域安全活動等の実施回数」及び「サイバー犯罪の被害防止に向けた広報啓発活動」は量もさることながら、活動内容の質を高める必要があります。
- ・ 高齢者の交通事故が目立っていることから、引き続き高齢者への教育に注力するとともに、免許の返納を促す具体的な措置を検討する必要があります。



柱 Ⅲ	安全・安心	安心 ～日常生活における安心の実現～	安 教 警
	プロジェクト 11		



## プロジェクトの背景やねらい

県内の刑法犯認知件数は減少していますが、高齢者を狙った特殊詐欺が多く発生するなど、県民の暮らしへの不安は依然として高いことから、地域における防犯活動の活性化をはじめとした県民が犯罪に遭わないための対策が必要です。そして万一犯罪などに遭われた場合には、早期に平穏な日常生活を取り戻すための支援が必要です。また、悪質商法の被害など消費者トラブルの未然防止や成年年齢の引下げに伴う消費者教育の充実も重要です。

そこで、犯罪の起きにくい地域社会づくりの取組みを推進するほか、犯罪被害者などへの支援や、消費者トラブルへの対応など、県民が安心してらせる社会の実現をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 犯罪などの起きにくい地域社会づくり
- ⇒ 構成施策B 犯罪被害者などへの支援
- ⇒ 構成施策C 消費者トラブルへの対応と未然防止に向けた取組み

## 指標の動向

○ 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい人の割合＜県民ニーズ調査＞

2018年度	48.6%
2019年度	49.5%
2022年度(目標値)	55.0%

○ 「安全・安心な消費生活の確保に関する施策が充実していること」に関する満足度  
＜県民ニーズ調査＞

2018年度	17.1%
2019年度	13.4%
2022年度(目標値)	21.0%

## KPIの進捗状況

### A 犯罪などの起きにくい地域社会づくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 各種防犯キャンペーンの参加人数(人)	2018		5,000	
	2019	5,000	5,500	110.0%
	2020	5,000	—	—
	2021	5,000	—	—
	2022	5,000	—	—
② ディスカッション方式の防犯セミナーの受講者数(人)	2018		—	
	2019	330	574	173.9%
	2020	330	—	—
	2021	330	—	—
	2022	330	—	—
③ 自主防犯活動団体の登録数(総数)(団体)	2018		2,326	
	2019	2,345	2,451	104.5%
	2020	2,350	—	—
	2021	2,355	—	—
	2022	2,360	—	—

### B 犯罪被害者などへの支援

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 犯罪被害者などに対する理解促進講座の実施回数(回)	2018		9	
	2019	10	9	90.0%
	2020	10	—	—
	2021	10	—	—
	2022	10	—	—
② 「いのちの大切さを学ぶ教室」の実施回数【暦年】(回)	2018		56	
	2019	80	59	73.7%
	2020	80	—	—
	2021	80	—	—
	2022	80	—	—

### ㉓ 消費者トラブルへの対応と未然防止に向けた取組み

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県の消費生活相談員及び行政職員が行う市町村支援件数(件)	2018		29	
	2019	36	36	100.0%
	2020	36	—	—
	2021	36	—	—
	2022	36	—	—
② 消費者教育を担う様々な主体と連携した消費者教育の場の設定(回)	2018		6	
	2019	7	10	142.8%
	2020	7	—	—
	2021	7	—	—
	2022	7	—	—
③ 高校などに対する新たな教材を活用した出前講座の開催回数(回)	2018		15	
	2019	15	14	93.3%
	2020	30		
	2021	30		
	2022	30		

### プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 神奈川県警察本部 犯罪統計のページ(過去の犯罪統計資料)  
<https://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesc0030.htm>
- 県消費生活課のページ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/r7b/index.html>
- 令和元年度第2回消費生活 e モニターアンケート調査「消費生活全般について」  
[https://pref.kanagawa.jp/docs/r7b/cnt/f370223/r1\\_2emonitor.html](https://pref.kanagawa.jp/docs/r7b/cnt/f370223/r1_2emonitor.html)
- かながわ消費者施策推進指針  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/r7b/cnt/f535335/index.html>
- 国民生活センター「成年年齢引下げに向けた消費生活センターの対応に関する現況調査」  
[https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20190328\\_3.html](https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20190328_3.html)

### 総合計画審議会からの意見

- ・ 日常生活における安心を実現していくために、地域社会に密着する市町村の活動を支援する県の役割が重要になります。
- ・ 地域の自主防犯活動の現場においては、活動メンバーの高齢化や協力者の確保が課題と言われており、あらゆる世代の人々が自分たちの生活スタイルに合わせて、できる範囲で主体的に協力・参加できる防犯活動の取組み例などについて、県内で共有する必要があります。





柱 <b>IV</b>	ひとのチカラ	
	プロジェクト <b>12</b> <b>男女共同参画</b> ～誰もがお互いを尊重し、共に参画し活躍できる社会づくり～	

福 安 環 産 土

## プロジェクトの背景やねらい

様々な分野で女性の活躍が進む一方、長時間労働をはじめとする男性中心型労働慣行や性別による役割分担意識は依然として根強く残っており、出産や介護に伴う女性の就業継続やキャリア形成を難しくするとともに、家庭や地域活動への男性の参画を阻む大きな壁となっています。

そこで、あらゆる分野における男女共同参画を一層進めるため、固定的な役割分担意識の解消や企業における働き方改革の取組みを促進するとともに、配偶者等からの暴力防止や、様々な困難を抱えた女性などに対する支援に取り組み、誰もが互いの人権を尊重し、性別にかかわらず、共に生き、共に参画し、笑ってらせる社会をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A あらゆる分野における男女共同参画
- ⇒ 構成施策B 職業生活の充実とワーク・ライフ・バランスの実現
- ⇒ 構成施策C 暴力や差別のない健やかで安心な暮らし

## 指標の動向

○ 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」という考え方について「そう思わない」人の割合  
 <県民ニーズ調査>

2018年度	81.4%
2019年度	82.7%
2022年度(目標値)	82.0%

○ 25～44歳の女性の就業率【暦年】<神奈川県労働力調査>

2018年度	74.5%
2019年度	75.9%
2022年度(目標値)	78.5%

## KPIの進捗状況

### A あらゆる分野における男女共同参画

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県の審議会等における女性委員の割合(%)  ※確定値は、2020年7月把握予定	2017		35.1	
	2018		34.4	
	<b>2019</b>	<b>38.9</b>	<b>35.3</b> (速報値※)	<b>90.7%</b>
	2020	40.0	—	—
	2021	40.4	—	—
	2022	40.8	—	—
② 民間事業所の女性管理職(課長相当職以上)の割合(%)	2018		7.8	
	<b>2019</b>	<b>9.1</b>	<b>8.1</b>	<b>89.0%</b>
	2020	10.4	—	—
	2021	11.7	—	—
	2022	13.0	—	—

### B 職業生活の充実とワーク・ライフ・バランスの実現

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① ワーク・ライフ・バランスのセミナー等への参加者数(人)	2018		150	
	<b>2019</b>	<b>150</b>	<b>153</b>	<b>102.0%</b>
	2020	150	—	—
	2021	150	—	—
	2022	150	—	—
② 民間の介護休業利用事業所割合(%)	2018		26.8	
	<b>2019</b>	<b>27.9</b>	<b>29.2</b>	<b>104.6%</b>
	2020	29.0	—	—
	2021	30.1	—	—
	2022	31.2	—	—

### C 暴力や差別のない健やかで安心な暮らし

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① デートDV防止啓発講座開催数(回)	2018		4	
	<b>2019</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>100.0%</b>
	2020	5	—	—
	2021	5	—	—
	2022	6	—	—
② 母子家庭等就業・自立支援センター事業による就業者数(人)	2018		35	
	<b>2019</b>	<b>80</b>	<b>53</b>	<b>66.2%</b>
	2020	80	—	—
	2021	80	—	—
	2022	80	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- かながわ男女共同参画推進プラン(第4次)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz3/4plan.html>
- 神奈川県男女共同参画年次報告書  
<https://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5459/>
- かながわ女性の活躍応援団  
<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0050/womanact/>
- かながわ働き方改革ポータルサイト(ワーク・ライフ・バランス)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/z4r/hatarakikataikaku/index.html>
- かながわDV防止・被害者支援プラン  
<https://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5903/>
- かながわ人権施策推進指針  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz3/cnt/f5877/index.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応で、テレワーク等の柔軟な働き方が普及したことは、女性の就業継続にはプラスになりますが、対応が難しい業種においては、子育て女性や妊婦などへの配慮が企業にさらなる負担感を与えている可能性があります。
- ・ 柔軟な働き方を導入することが女性の活躍推進につながることを広く周知し、後押しする必要があります。



柱 <b>IV</b>	ひとのチカラ	<b>子ども・青少年</b> ～子ども・青少年が健やかに成長できるかながわをめざして～	
	プロジェクト <b>13</b>		
			

## プロジェクトの背景やねらい

女性の就業率が上昇し、保育所や放課後児童クラブへのニーズが増加する中、核家族化や地域のつながりの希薄化に伴い、子育ての悩みや不安を相談できる相手が身近にいないことなどが課題となっています。多くの若者が家庭を持つ希望をかなえるためにも、社会全体で子育てを支えるしくみの充実が重要です。また、児童虐待、子どもの貧困、ひきこもり、インターネットトラブルなど、子ども・青少年をとりまく環境は厳しさを増しています。

そこで、結婚から育児までの切れ目ない支援を通じて少子化対策に取り組むとともに、支援を必要とする子どもを守る体制づくりや、青少年の健全育成と社会的自立の支援を行い、すべての子ども・青少年が健やかに成長できるかながわをめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒構成施策A 結婚から育児までの切れ目ない支援
- ⇒構成施策B 支援を必要とする子どもを守る体制づくり
- ⇒構成施策C 青少年の健全育成と自立の支援

## 指標の動向

○ 「安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること」に関する満足度＜県民ニーズ調査＞

2018年度	16.2%
2019年度	16.5%
2022年度(目標値)	20.0%

○ 保育所等利用待機児童数＜県次世代育成課調べ＞

2018年度※	750人
2019年度※	2020年6月中把握予定
2022年度(目標値)※	0人

※それぞれ翌年4月1日現在の実績値

## KPIの進捗状況

### A 結婚から育児までの切れ目ない支援

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 保育士・保育所支援センターを利用して就職に結びついた保育士数(人)	2018		136	
	<b>2019</b>	<b>152</b>	<b>101</b>	<b>66.4%</b>
	2020	158	—	—
	2021	164	—	—
	2022	170	—	—
② かながわ子育て応援パスポートの協力施設数(総数)(施設)	2018		3,487	
	<b>2019</b>	<b>3,565</b>	<b>3,574</b>	<b>100.2%</b>
	2020	3,640	—	—
	2021	3,715	—	—
	2022	3,790	—	—

### B 支援を必要とする子どもを守る体制づくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 里親の新規認定登録数(組)	2018		22	
	<b>2019</b>	<b>24</b>	<b>26</b>	<b>108.3%</b>
	2020	26	—	—
	2021	28	—	—
	2022	30	—	—
② いじめ認知件数のうち、「解消」した割合(%)	2018		92.3	
	<b>2019</b>	<b>100</b>	<b>※</b>	<b>※</b>
	2020	100	—	—
	2021	100	—	—
	2022	100	—	—

※実績値は、2020年10月末把握予定

### C 青少年の健全育成と自立の支援

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 神奈川県青少年保護育成条例の内容を知っている保護者の割合(%)	2018		63.2	
	<b>2019</b>	<b>64.0</b>	<b>65.3</b>	<b>102.0%</b>
	2020	66.0	—	—
	2021	68.0	—	—
	2022	70.0	—	—
② 地域若者サポートステーションで支援を受けた人の就職率(%)	2018		40.1	
	<b>2019</b>	<b>44.0</b>	<b>46.5</b>	<b>105.6%</b>
	2020	46.0	—	—
	2021	48.0	—	—
	2022	50.0	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- かながわ子どもみらいプラン  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f532276/>
- 子育て支援情報サービスかながわ  
<https://c.rakuraku.or.jp/>
- かながわパパ応援ウェブサイト「パパノミカタ」  
<https://c.rakuraku.or.jp/mikata>
- オレンジリボンたすきリレー  
<http://www.orange-tasuki.org/>
- 神奈川県社会的養育推進計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/he8/pub/c8631684.html>
- かながわの青少年(神奈川県青少年白書)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/hakusyo/hakusyo.html>
- 青少年に関する調査研究等(内閣府)  
<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu.htm>
- かながわ青少年育成・支援指針  
<https://www.pref.kanagawa.jp/cut/f160389/>
- 神奈川県子どもの貧困対策推進計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/documents/documents/hinkon2>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 支援を必要とする子どもを守る体制づくりは、早期発見やつながりやすい関係・機会づくりが必要であり、連携強化について、学校や地域でどのような取組みが行えたかが重要になります。
- ・ 子どもの問題を考えるときは、貧困等に関係する福祉的な問題と、教育等の子どもの育ちに関する問題の両面の視点を持つ必要があります。





柱 <b>IV</b>	ひとのチカラ	
	プロジェクト <b>14</b>	
		

## プロジェクトの背景やねらい

少子化による児童・生徒数の減少、グローバル化の進展、AIなどをはじめとする技術革新やそれに伴う産業・就業構造の変化など、社会環境は急速に変化しています。また、健康寿命が延びており、人生100歳時代を迎えています。そうした中、人生を豊かに、笑って生きるため、社会環境の変化に対応し、生涯にわたって能動的に学び続けることで自らの能力を高めるとともに、それを様々な場面で発揮することが期待されています。

そこで、県立高校改革をはじめとした一人ひとりの「生きる力」を高める学校教育の充実、県民の生涯にわたる学びの機会の提供、学校などを核として地域におけるコミュニティの形成を図るなど学びを支える環境づくりに取り組み、生涯を通じたかながわの人づくりを進めます。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 生涯にわたる学びの推進
- ⇒ 構成施策B 生涯にわたる学びを支える環境づくり

## 指標の動向

### ○ 高校生活を振り返って満足した生徒の割合(県立高校等) < 県高校教育課調べ >

2018年度	83.9%
2019年度	79.9%
2022年度(目標値)	90.0%

※ アンケートの設問及び選択肢を2019年度から変更しました。  
そのため、2018年度と2019年度の実績値に連続性はありません。  
(2018年度の実績値は参考値として記載しています。)

### ○ 教師が、自分のよいところを認めてくれていると思う生徒の割合(公立中学校)

< 文部科学省 全国学力・学習状況調査 >

2018年度	79.6%
2019年度	78.9%
2022年度(目標値)	90.0%

### ○ 教師が、自分のよいところを認めてくれていると思う児童の割合(公立小学校)

< 文部科学省 全国学力・学習状況調査 >

2018年度	83.1%
2019年度	84.2%
2022年度(目標値)	90.0%

○ 県立社会教育施設の利用者が満足と回答した割合<県生涯学習課調べ>

2018年度	—
2019年度	96.2%
2022年度(目標値)	90.0%

## KPIの進捗状況

### A 生涯にわたる学びの推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県立学校施設開放の利用回数(回)	2018		16,563	
	2019	17,100	15,053	88.0%
	2020	17,400	—	—
	2021	17,800	—	—
	2022	18,200	—	—
② 問題解決能力が向上したと回答した生徒の割合(県立高校等)(%)	2018		74.0	
	2019	76.0	79.3	104.3%
	2020	78.0	—	—
	2021	80.0	—	—
	2022	82.0	—	—

### B 生涯にわたる学びを支える環境づくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 求められる英語力(CEFR B2 レベル以上)を有する英語担当教員の割合(県立高校等)(%)	2018		68.1	
	2019	70.0	69.0	98.5%
	2020	72.0	—	—
	2021	74.0	—	—
	2022	75.0	—	—
② 県立高校等の耐震化率(%)	2018		76.8	
	2019	79.4	79.0	99.4%
	2020	82.7	—	—
	2021	87.8	—	—
	2022	94.4	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 県教育委員会ホームページ(県教委総務室)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/kyouiku/index.html>
- かながわ教育ビジョン(県教委総務室)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5t/cnt/f4816/index.html>
- 県立高校改革(県教委総務室)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5t/cnt/f531868/>
- 教職スタートアップ(県立総合教育センター)  
<https://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/careerSnavi/>
- 公立学校施設の耐震改修状況フォローアップ調査の結果について(文部科学省)  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/31/08/attach/1419963.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/08/attach/1419963.htm)

## 総合計画審議会からの意見

- ・ インクルーシブ教育は、スペシャルニーズを持つ子どもだけでなく、すべての子どもを対象として「分けない」環境づくりに取り組む必要があります。
- ・ 家庭の経済格差、情報格差(デジタルデバイド)も踏まえ、すべての子どもたちに、いざという時にオンラインでの学びや、学友・教師等とのコミュニケーション機会をしっかりと持てるような環境を整備する必要があります。



柱 <b>IV</b>	ひとのチカラ	 <b>文化芸術</b> ～文化芸術の魅力で人を引きつけ、心豊かで活力ある地域の実現～
	プロジェクト <b>15</b>	
		

## プロジェクトの背景やねらい

文化芸術により真にゆとりと潤いを実感できる心豊かな県民生活と、活力に満ちた地域づくりの実現が求められています。特に、東京2020大会に向け、伝統芸能を含む文化芸術により地域のにぎわいを創出するとともに、その成果をレガシーとして、大会後もコミュニティの再生・活性化に生かしていくことが必要です。

そこで、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグカル(マグネット・カルチャー)の取り組みのさらなる展開を図るとともに、笑いがあふれる社会の実現を後押しします。また、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで、あらゆる人の文化芸術活動の充実を図ることで、共生社会づくりに寄与するとともに、心豊かな県民生活の実現に向けて取り組みます。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取り組みの柱

- ⇒構成施策A 県民の文化芸術活動の充実
- ⇒構成施策B 文化資源を活用した地域づくりの推進
- ⇒構成施策C 文化芸術の振興を図るための環境整備

## 指標の動向

### ○ 県文化芸術事業参加者数<県文化課調べ>

2018年度	1,514,142人
2019年度	1,590,900人
2022年度(目標値)	1,694,000人

### ○ 神奈川県民ホール、神奈川芸術劇場、県立音楽堂、かながわアートホール及び神奈川近代文学館の利用者満足度<県文化課調べ>

2018年度	97%
2019年度	97%
2022年度(目標値)	97%

## KPIの進捗状況

### A 県民の文化芸術活動の充実

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 伝統芸能の体験・ワークショップ等の回数(回)	2018		12	
	<b>2019</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>92.3%</b>
	2020	13	—	—
	2021	14	—	—
	2022	14	—	—
② 共生共創事業の公演等の参加者数(人)	2018		2,532	
	<b>2019</b>	<b>5,000</b>	<b>6,947</b>	<b>138.9%</b>
	2020	5,400	—	—
	2021	5,700	—	—
	2022	6,000	—	—
③ マグカルシアター等参加者数(人)	2018		6,572	
	<b>2019</b>	<b>10,000</b>	<b>7,252</b>	<b>72.5%</b>
	2020	10,200	—	—
	2021	10,400	—	—
	2022	10,500	—	—

### B 文化資源を活用した地域づくりの推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 神奈川文化プログラム認証件数(件)	2018		425	
	<b>2019</b>	<b>430</b>	<b>497</b>	<b>115.5%</b>
	2020	460	—	—
	2021	460	—	—
	2022	460	—	—
② 県文化芸術振興審議会が選定した質の高い文化芸術活動を行う非営利活動団体数(団体)	2018		36	
	<b>2019</b>	<b>37</b>	<b>38</b>	<b>102.7%</b>
	2020	38	—	—
	2021	39	—	—
	2022	40	—	—

### ㉓ 文化芸術の振興を図るための環境整備

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県立文化施設で育成した文化芸術を担う人材数(計画期間中の累計)(人)	2018		—	
	<b>2019</b>	<b>145</b>	<b>66</b>	<b>45.5%</b>
	2020	290	—	—
	2021	435	—	—
	2022	580	—	—
② 「マグカル・ドット・ネット」のページビュー数(PV)	2018		357,231	
	<b>2019</b>	<b>364,600</b>	<b>398,712</b>	<b>109.3%</b>
	2020	372,200	—	—
	2021	379,800	—	—
	2022	387,400	—	—

### プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- マグカル・ドット・ネット  
<https://magcul.net/>
- 神奈川県文化芸術振興(文化芸術振興条例・文化芸術振興計画)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yi4/cnt/f6032/index.html>
- 神奈川文化プログラム認証制度  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yi4/ninsyou00.html>
- 公益財団法人 神奈川芸術文化財団  
<https://www.kanagawa-arts.or.jp/>

### 総合計画審議会からの意見

- ・ 体験型ワークショップなど次世代の文化・教養の涵養につながる取組みを継続する必要があります。
- ・ KPI「県立文化施設で育成した文化芸術を担う人材数」の進捗率が低いため、今後の進捗に向けてより一層取り組む必要があります。





柱 <b>IV</b>	ひとのチカラ	<b>スポーツ</b> ～誰もが生涯にわたりスポーツに親しめる社会の実現～	ス 政 国 福 健 土 教
	プロジェクト <b>16</b>		



## プロジェクトの背景やねらい

ラグビーワールドカップ2019™、東京2020大会、ねんりんピックかながわ2021が3年続けて順次開催されます。これらを契機にスポーツに対する関心の高まりが見込まれる中、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる地域社会の実現とともに、スポーツイベントの成果を次世代へも継承していくことが求められています。

そこで、この機会を捉え、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、未病の改善や健康寿命の延伸につなげていくとともに、スポーツ環境の基盤となる「人材」の育成と「場」の充実など、スポーツ活動を拓げる環境づくりを一層推進します。また、東京2020大会等を成功に導くことで、それらのレガシーの創出・継承に取り組みます。こうした取組みを通して、すべての人が自分の運動機能などに応じて、スポーツを「する」「観る」「支える」ことができるよう「かながわパラスポーツ」を推進し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、笑いがあふれる生涯スポーツ社会の実現をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

⇒構成施策A 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進

⇒構成施策B スポーツ活動を拓げる環境づくりの推進

⇒構成施策C 大規模なスポーツイベントを盛り上げ、レガシーを創出・継承する取組み

## 指標の動向

○ 子どもの週3回以上のスポーツ実施率＜神奈川県児童生徒体力・運動能力調査＞

2018年度	46.5%
2019年度	46.8%
2022年度(目標値)	55.0%

○ 成人の週1回以上のスポーツ実施率＜県民ニーズ調査＞

2018年度	50.6%
2019年度	54.2%
2022年度(目標値)	65.0%

## KPIの進捗状況

### A 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 体力テスト総合評価 5 段階評価のうち、D、E の児童の割合(%)  【目標値は減方向に設定】	2018		31.9	
	2019	30.5	32.8	92.9%
	2020	29.5	—	—
	2021	28.5	—	—
	2022	27.5	—	—
② 成人が一週間に 3 回以上 1 日 30 分程度のスポーツを習慣的に行っている割合(%)	2018		28.2	
	2019	29.0	28.7	98.9%
	2020	30.0	—	—
	2021	31.0	—	—
	2022	32.0	—	—
③ 高齢者のスポーツ等の交流大会である、かながわシニアスポーツフェスタの参加者数(人)	2018		3,088	
	2019	3,800	6,021	158.4%
	2020	3,900	—	—
	2021	4,000	—	—
	2022	4,100	—	—

### B スポーツ活動を広げる環境づくりの推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① PDCA サイクルなどにより運営改善を図る総合型地域スポーツクラブの割合(%)	2018		32.5	
	2019	50.0	52.1	104.2%
	2020	60.0	—	—
	2021	70.0	—	—
	2022	75.0	—	—
② かながわパラスポーツ関連事業への参加者数(人)	2018		12,325	
	2019	13,000	13,141	101.0%
	2020	14,000	—	—
	2021	14,500	—	—
	2022	15,000	—	—

### C 大規模なスポーツイベントを盛り上げ、レガシーを創出・継承する取組み

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 東京 2020 大会等の機運醸成や、大会後のレガシーとなるスポーツ推進に資する取組みを主体的に実施する市町村数(総数)(市町村)	2018		15	
	2019	23	23	100.0%
	2020	33	—	—
	2021	33	—	—
	2022	33	—	—

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
② 県民スポーツ月間の参加者数(人)	2018		379,394	
	2019	390,000	308,688	79.1%
	2020	400,000	—	—
	2021	410,000	—	—
	2022	420,000	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 神奈川県児童生徒体力・運動能力調査報告書  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cy3/gkt/kkt-chousa.html>
- 神奈川県スポーツ推進条例  
<https://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f536339/>
- 神奈川県スポーツ推進計画「エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン」  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/tz5/cnt/f536335/>
- 3033(サンマルサンサン)運動 — 暮らしに運動・スポーツの習慣を—  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ui6/3/3033.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 運動が好きな子どもに育てていくことが、ライフステージ全般におけるスポーツ推進の基盤になるため、乳幼児期における身体作り対策をより一層取り組む必要があります。
- ・ 3033運動などの暮らしの中にスポーツを習慣として取り入れる環境づくりをより一層進める必要があります。



柱 <b>IV</b>	ひとのチカラ	雇用 ～一人ひとりが輝きながら働ける神奈川～	産 政 福 健 土 企 教
	プロジェクト <b>17</b>		

## プロジェクトの背景やねらい

人生100歳時代において、超高齢社会を乗り越え経済のエンジンを回していくためには、働き方改革を進め、働く意欲のあるすべての人がその能力を発揮し、生き生きと働くことができる社会の実現が求められています。

そこで、ワーク・ライフ・バランスの実現や労働環境の整備を支援し、若年者、中高年齢者、女性、障がい者などの多様なニーズに対応した就業支援、企業と求職者のニーズに対応した人材育成を進めるとともに、新たな労働の担い手として外国人材の育成・活躍支援などに取り組み、一人ひとりが輝きながら働くことができる神奈川の実現をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒構成施策A 就業支援の充実
- ⇒構成施策B 産業を支える人材育成
- ⇒構成施策C 外国人材の育成・活躍支援

## 指標の動向

### ○ 完全失業率【暦年】＜神奈川県労働力調査＞

2018年度	2.3%
2019年度	2.1%
2022年度(目標値)	2%台

### ○ 1人当たり月所定外労働時間(事業所規模30人以上)【暦年】＜神奈川県毎月勤労統計調査＞

2018年度	12.6時間
2019年度	13.6時間
2022年度(目標値)	10.5時間

## KPIの進捗状況

### A 就業支援の充実

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 「かながわ若者就職支援センター」でキャリアカウンセリングを利用した者の就職等進路決定率(%)	2018		41.8	
	<b>2019</b>	<b>44.5</b>	<b>59.5</b>	<b>133.7%</b>
	2020	48.0	—	—
	2021	51.5	—	—
	2022	55.0	—	—
② 「シニア・ジョブスタイル・かながわ」でキャリアカウンセリングを利用した者の就職等進路決定率(%)	2018		32.5	
	<b>2019</b>	<b>36.5</b>	<b>42.6</b>	<b>116.7%</b>
	2020	41.0	—	—
	2021	45.5	—	—
	2022	50.0	—	—
③ 「マザーズハローワーク横浜」でキャリアカウンセリングを利用した者の就職等進路決定率(%)	2018		18.0	
	<b>2019</b>	<b>18.5</b>	<b>22.9</b>	<b>123.7%</b>
	2020	19.0	—	—
	2021	19.5	—	—
	2022	20.0	—	—
④ 障がい者雇用率(%)	2018		2.01	
	<b>2019</b>	<b>2.09</b>	<b>2.09</b>	<b>100.0%</b>
	2020	2.19	—	—
	2021	2.30	—	—
	2022	2.32	—	—

### B 産業を支える人材育成

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県立総合職業技術校における修了者の3か月後の就職率(%) ※確定値は、2020年7月末把握予定	2017		96.6	
	2018		96.1	
	<b>2019</b>	<b>95.0</b>	<b>95.1</b> (推計値※)	<b>100.1%</b>
	2020	95.0	—	—
	2021	95.0	—	—
	2022	95.0	—	—
② 県立総合職業技術校などにおいて新たに実施する求職者訓練及び在職者訓練のコース数(コース)	2018		2	
	<b>2019</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>100.0%</b>
	2020	2	—	—
	2021	2	—	—
	2022	2	—	—

## ③ 外国人材の育成・活躍支援

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県立産業技術短期大学校への留学生の受入れ人数(人) 【2019年度は目標値・実績値なし】	2018		—	
	2019	—	—	—
	2020	10	—	—
	2021	10	—	—
	2022	10	—	—
② 外国人家事支援人材の雇用人数(人) ※確定値は、把握時期未定	2018		509	
	2019	550	562 (2月末現在※)	102.1%
	2020	610	—	—
	2021	660	—	—
	2022	700	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 第10次神奈川県職業能力開発計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p4604.html>
- 厚生労働省 障害者雇用状況報告  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_08594.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08594.html)
- 看護師国家試験における経済連携協定(EPA)に基づく外国人看護師候補者の合格者数  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000154325\\_00006.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000154325_00006.html)
- 厚生労働省 介護福祉士国家試験におけるEPA介護福祉士候補者の試験結果  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_10436.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10436.html)
- 神奈川県労働力調査  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x6z/tc30/rodo/rodo.html>
- 神奈川県毎月勤労統計調査  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x6z/tc30/maikin/maitsukikinrou.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 今後、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用状況の悪化が予想されるため、更なる就業支援の充実を図っていく必要があります。





柱 V	まちづくり	<b>地域活性化</b> ～地域資源を生かした地域活性化をめざして～	政	国	ス	環	産	土
	プロジェクト 18							

## プロジェクトの背景やねらい

神奈川は、首都圏に位置し、都市化が進んでいる一方で、森・川・海が連なる豊かな自然環境にも恵まれており、それぞれの地域に魅力ある資源やライフスタイルがあります。

そこで、こうした地域の特性や資源を活用し、人口減少が進む三浦半島地域や県西地域を中心に人を呼び込むプロジェクトを推進するとともに、将来の移住につながるよう、来訪した人と地域の人との多様な交流機会を創出するほか、コミュニティの核となる商店街の活性化や地域産業の振興を進めることで、新たな活力と住む人・訪れる人の笑いを生み出し、地域の活性化を図ります。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 人を呼び込む地域づくり
- ⇒ 構成施策B 関係人口の創出を通じた移住・定住の促進
- ⇒ 構成施策C 地域産業の振興支援

## 指標の動向

### ○ 三浦半島地域(鎌倉市を除く)における観光客消費額【暦年】<神奈川県入込観光客調査>

2017年度	255億4,500万円
2018年度	265億円
2022年度(目標値)	308億円

### ○ 県西地域における観光客消費額【暦年】<神奈川県入込観光客調査>

2017年度	1,199億900万円
2018年度	1,211億円
2022年度(目標値)	1,240億円

### ○ 人口が転出超過の市町村数【暦年】<総務省 住民基本台帳人口移動報告>

2018年度	14市町村
2019年度	16市町村
2022年度(目標値)	10市町村

## KPIの進捗状況

### A 人を呼び込む地域づくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 未病バレー「ビोटピア」の来場者数(万人)	2018		53	
	2019	55	31	56.3%
	2020	60	—	—
	2021	65	—	—
	2022	70	—	—
② 水源地域への交流人口(万人)	2018		89.1	
	2019	97.3	80.6	82.8%
	2020	98.6	—	—
	2021	100.6	—	—
	2022	102.6	—	—
③ 三浦半島地域における各種イベント参加人数(万人)	2018		14.1	
	2019	14.5	19.2	132.4%
	2020	14.9	—	—
	2021	15.2	—	—
	2022	15.5	—	—

### B 関係人口の創出を通じた移住・定住の促進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 市町村で実施した関係人口に関するイベント等への参加者数(人)	2018		—	
	2019	1,500	3,661	244.0%
	2020	3,000	—	—
	2021	4,500	—	—
	2022	6,000	—	—
② 県や市町村の相談を經由して移住した人数(人)	2018		16	
	2019	53	69	130.1%
	2020	72	—	—
	2021	89	—	—
	2022	96	—	—

## C 地域産業の振興支援

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県内外から人を引きつけるために魅力を高める取組みを行う商店街団体の数(団体)	2018		29	
	2019	30	30	100.0%
	2020	30	—	—
	2021	30	—	—
	2022	30	—	—
② 中小企業が作成した「地域産業資源を活用した地域活性化のための事業計画」が、国に認定された件数(件)	2018		3	
	2019	2	0	0.0%
	2020	2	—	—
	2021	2	—	—
	2022	2	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 県西地域活性化プロジェクト  
<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0602/kenseipj/>
- 三浦半島魅力最大化プロジェクト  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/miurapj/1.html>
- 三浦半島観光サイト「LAUMI」  
<https://www.laumi.jp/>
- 神奈川やまなみ五湖 navi(一部のイベント等を掲載)  
<https://www.suigen.jp>
- 神奈川県入込観光客調査  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ya3/cnt/f80022/p27746.html>
- 神奈川県人口ビジョン(令和2年3月改訂)及び第2期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/cnt/f532311/index.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 地域外から人を呼び込むため、地域外での広報的活動やイメージ向上戦略を展開する必要があります。



柱 V	まちづくり	プロジェクト 19	多文化共生 ～多文化共生の地域社会づくり～	国 福 産 教
				

## プロジェクトの背景やねらい

神奈川県には、多岐にわたる国籍の外国籍県民等がくらしています。また、入管法の改正もあり、今後さらなる増加が見込まれます。そうした中で、外国籍県民等が抱える課題は教育や子育て、高齢化など多様化、複雑化しています。また、県内の大学などには多くの留学生が在籍しており、就職・生活・交流など留学生の様々なニーズへの対応も求められています

そこで、外国籍県民等がくらしやすい環境づくり、神奈川県でくらし学ぶ留学生への支援、地域における多文化理解の推進などに取り組み、国籍にかかわらず、お互いが理解し合い、県民一人ひとりが生きがいを持って共に笑い、心豊かにくらすことができる多文化共生の地域社会づくりを進めます。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 多文化理解の推進
- ⇒ 構成施策B 多国籍県民等も安心してくらす地域社会づくり
- ⇒ 構成施策C 外国人が活躍できる環境づくり

## 指標の動向

○ 「外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合ってともに暮らすこと」を重要だと思う人の割合＜県民ニーズ調査＞

2018年度	64.9%
2019年度	64.9%
2022年度(目標値)	70.0%

○ 国内に就職した留学生数＜神奈川県内大学等在籍留学生調査＞

2018年度	980人
2019年度	1,292人
2022年度(目標値)	1,710人

## KPIの進捗状況

### A 多文化理解の推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 多文化共生イベントの参加者の満足度(%)	2018		69	
	2019	72	81	112.5%
	2020	75	—	—
	2021	78	—	—
	2022	80	—	—
② 地球市民かながわプラザの利用者数(人)	2018		461,004	
	2019	462,000	437,287	94.6%
	2020	463,000	—	—
	2021	464,000	—	—
	2022	465,000	—	—

### B 多国籍県民等も安心してらせる地域社会づくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 医療通訳実施率(%)	2018		91.1	
	2019	92.0	89.3	97.0%
	2020	92.5	—	—
	2021	93.0	—	—
	2022	93.5	—	—
② 多言語支援センター対応件数(件)	2018		2,860	
	2019	3,045	8,931	293.3%
	2020	3,230	—	—
	2021	3,415	—	—
	2022	3,600	—	—

### C 外国人が活躍できる環境づくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県内大学等在籍留学生数(総数)(人)	2018		13,239	
	2019	14,000	13,855	98.9%
	2020	16,000	—	—
	2021	18,000	—	—
	2022	20,000	—	—
② 「かながわ国際ファンクラブ」会員数(総数)(人)	2018		7,328	
	2019	7,960	7,963	100.0%
	2020	8,635	—	—
	2021	9,315	—	—
	2022	10,000	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- かながわ国際政策推進指針(第4版)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/cnt/f607/>
- かながわ国際ファンクラブ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/kanafan/>
- 外国籍県民に関する取組み  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/cnt/f3530/>
- 地球市民かながわプラザの事業実施状況や利用者数など  
[https://www.earthplaza.jp/plan\\_report/](https://www.earthplaza.jp/plan_report/)
- 県内外国人統計(外国人登録者統計)  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/cnt/f4695/>
- 在留外国人統計(法務省)  
[http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei\\_ichiran\\_touroku.html](http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html)

## 総合計画審議会からの意見

- ・ KPI「多言語支援センター対応件数」の実績値(8,931件)が目標値(3,045件)の3倍近くになっており、多言語での生活相談ニーズが高まっているため、関係機関との連携強化や人材育成等により、より一層の相談支援体制の拡充を進める必要があります。





柱 V	まちづくり	<b>協働連携</b> ～NPO など多様な主体による協働型社会の実現～	政 全
	プロジェクト 20		
			

## プロジェクトの背景やねらい

複雑化・多様化する地域課題や社会課題に対し、県民、NPO、企業、大学、行政など多様な主体による協働連携や、コミュニティによる助け合いがますます重要になっています。また、休眠預金などを活用して民間主導による民間公益活動を促進する制度がスタートし、課題解決に向けた活動の拡大や多様化が期待されています。県内では、従来から多くのNPOが地域課題の解決に取り組んでいますが、その一方で、依然としてその活動基盤は不安定な状況におかれています。

そこで、多様な主体の交流の場づくりなどにより協働連携を推進するとともに、NPOが県民の参加や寄附を得ることによって自立的・安定的に活動できるように、NPOの認知度向上などに取り組み、SDGsが掲げるパートナーシップの推進にもつながる協働型社会を実現し、笑いあふれる神奈川をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 多様な主体による協働連携の推進
- ⇒ 構成施策B NPOの自立的活動に向けた支援

## 指標の動向

○ 「公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい」と思う人の割合＜県民ニーズ調査＞

2018年度	19.5%
2019年度	23.9%
2022年度(目標値)	22.0%

○ 県と企業・大学との連携事業数＜県SDGs推進課調べ、県未来創生課調べ＞

2018年度	2,897件
2019年度	※新型コロナウイルス感染症の影響により把握不可
2022年度(目標値)	3,017件

## KPIの進捗状況

### A 多様な主体による協働連携の推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県と連携事業を行っている企業・大学数(件)  ※実績値は、新型コロナウイルス感染症の影響により把握不可	2018		1,328	
	2019	1,340	※	※
	2020	1,352	—	—
	2021	1,364	—	—
	2022	1,376	—	—
② 交流の場で協働連携のきっかけを得られた参加者の割合(%)	2018		29.1	
	2019	30.0	30.1	100.3%
	2020	31.0	—	—
	2021	32.0	—	—
	2022	33.0	—	—

### B NPOの自立的活動に向けた支援

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県が実施するかながわコミュニティカレッジ受講者の満足度(点)	2018		77.3	
	2019	78.0	77.9	99.8%
	2020	78.5	—	—
	2021	79.0	—	—
	2022	80.0	—	—
② 寄附金税制優遇の対象となるNPO法人の県指定・認定件数(件)	2018		10	
	2019	8	8	100.0%
	2020	8	—	—
	2021	9	—	—
	2022	10	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 企業・NPO・大学パートナーシップ支援事業  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/md5/cnt/f6188/>
- 認定・指定NPO法人一覧  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/md5/cnt/f530009/>
- NPO認証法人数の推移  
<https://www.npo-homepage.go.jp/about/toukei-info/ninshou-seni>
- かながわコミュニティカレッジ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u3x/komikare/index.html>
- かながわボランティア活動推進基金 21  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u3x/cnt/f5258/index.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ パートナーシップの推進においては、NPO、企業、大学、行政などとグランドデザインの各プロジェクトに沿って課題認識や統計データなどの情報共有を図り、目的を共有し、それぞれの専門性や立場を生かして課題解決に向けた取組みや連携を進める仕組みづくりを検討する必要があります。



柱 <b>V</b>	まちづくり	プロジェクト <b>21</b>	<b>自然</b> ～多様な生物を育む自然環境の保全と活用～	環 政 健 士
				

## プロジェクトの背景やねらい

私たちの生活は、生態系から得られる様々な恵みに支えられており、またSDGsの推進を図るためにも、生態系全体を生物多様性として捉え、保全することが求められています。また、生物多様性の保全に不可欠な野生鳥獣との共存や、丹沢大山地域などにおける自然環境の保全・再生、里地里山や都市のみどりの保全と活用などの対策には、長い時間をかけて取り組むことが必要です。

そこで、こうした取り組みを一つひとつ時間をかけて着実に進めていくとともに、新たに創設された森林環境税・森林環境譲与税の目的の達成に向け、市町村及び県が一体となって県内すべての森林の保全・再生を図り、自然のもたらす恵みを次の世代に着実に引き継いでいきます。さらに、「ペットのいのちも輝く神奈川」をめざし、動物愛護管理にも取り組みます。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取り組みの柱

- ⇒構成施策A 生物多様性の保全
- ⇒構成施策B 森林と里地里山の保全と活用
- ⇒構成施策C 都市のみどりの保全と活用
- ⇒構成施策D 動物愛護管理の推進

## 指標の動向

### ○ 生物多様性の認知度＜県民ニーズ調査＞

2018年度	48.5%
2019年度	69.2%
2022年度(目標値)	70.0%

### ○ 水源の森林づくり事業で行った森林整備の延べ面積(累計)＜県水源環境保全課調べ＞

2018年度	35,606ha
2019年度	38,805ha
2022年度(目標値)	46,326ha

## KPIの進捗状況

### A 生物多様性の保全

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 生物多様性アドバイザーの派遣回数(回)	2018		6	
	2019	7	7	100.0%
	2020	8	—	—
	2021	9	—	—
	2022	10	—	—
② 地域ぐるみの鳥獣被害対策の重点取組地区数(総数)(地区)	2018		11	
	2019	18	18	100.0%
	2020	21	—	—
	2021	24	—	—
	2022	27	—	—

### B 森林と里地里山の保全と活用

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 森林づくりボランティア参加者数(人)	2018		10,120	
	2019	10,200	9,171	89.9%
	2020	10,300	—	—
	2021	10,400	—	—
	2022	10,500	—	—
② 市町村と連携して保全活動団体への支援に取り組む里地里山保全等地域数(総数)(地域)	2018		21	
	2019	22	21	95.4%
	2020	23	—	—
	2021	24	—	—
	2022	25	—	—

### C 都市のみどりの保全と活用

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県民参加による保全活動が行われている県有緑地の数(総数)(箇所)	2018		10	
	2019	11	11	100.0%
	2020	12	—	—
	2021	13	—	—
	2022	14	—	—
② 小網代の森における環境学習機会の回数(回)	2018		71	
	2019	75	66	88.0%
	2020	80	—	—
	2021	85	—	—
	2022	90	—	—

## D 動物愛護管理の推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 神奈川県動物愛護センターに保護された犬猫の譲渡会の回数(回)	2018		12	
	2019	14	16	114.2%
	2020	18	—	—
	2021	22	—	—
	2022	24	—	—
② 神奈川県動物愛護センターにおける子ども向け普及啓発事業の回数(回)	2018		20	
	2019	30	27	90.0%
	2020	35	—	—
	2021	35	—	—
	2022	35	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- かながわ生物多様性情報サイト  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t4i/cnt/f12655/>
- 小網代の森について  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/d2t/kankyo/p820028.html>
- かながわの水源地環境の保全・再生をめざして  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f7006/index.html>
- かながわの里地里山  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/cnt/f300562/>
- 野生鳥獣による農作物被害の状況について  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t4i/cnt/f986/p10103.html>
- かながわペットのいのち基金  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/pet-inoti-kikin.html>
- かながわ水源地環境保全・再生施策大綱  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f7006/p23516.html>
- かながわ生物多様性計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t4i/cnt/f12655/p1042709.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ 小網代の森における環境学習など、児童・生徒を対象とした取組みをより一層充実させる必要があります。
- ・ 犬猫殺処分の数を減らすという対症療法だけでなく、ペットの飼い主・生産者・販売者に向けた抜本的な対策(上流対策)を実施する必要があります。





柱 V	まちづくり	環境 ～次世代につなぐ、いのち輝く環境づくり～	環	政	健	産	土	企	教	警
	プロジェクト 22									
										

## プロジェクトの背景やねらい

地球温暖化をはじめとする気候変動の影響に対するリスクの低減及び影響への適応、循環型社会の実現、良好な大気・水環境の保全に向け、具体的な対応が求められています。これら地球規模の環境に係る課題の解決は、企業や消費者など様々なステークホルダーと連携しつつ、地域における取組みを一つひとつ進めることが必要であり、SDGsの達成に向けても重要です。

そこで、省エネルギー対策の推進や、3R(排出抑制、再使用、再生利用)の推進、大気・水環境の監視や事業所指導などに積極的に取り組むことで、将来世代に良好な環境をつなぐ、持続可能な社会の実現をめざします。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒構成施策A 気候変動への対応
- ⇒構成施策B 循環型社会づくり
- ⇒構成施策C 大気・水環境の保全

## 指標の動向

### ○ 神奈川県における温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比)

＜神奈川県内の温室効果ガス排出量推計結果＞

2016年度	△6.3%
2017年度	△5.7%(速報値※)
2018年度	2021年3月把握予定
2022年度(目標値)	△12.4%

※確定値は、2021年3月把握予定

### ○ 生活系ごみ1人1日当たりの排出量＜県資源循環推進課調べ＞

2017年度	648g
2018年度	637g
2019年度	2021年3月把握予定
2022年度(目標値)	623g

### ○ 光化学スモッグ注意報発令日数＜県大気水質課調べ＞

2018年度	8日
2019年度	6日
2022年度(目標値)	6日

## KPIの進捗状況

### A 気候変動への対応

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 気候変動の影響への適応の関心度(%)	2018		—	
	<b>2019</b>	<b>48.0</b>	<b>89.7</b>	<b>186.8%</b>
	2020	52.0	—	—
	2021	56.0	—	—
	2022	60.0	—	—
② マイエコ10(てん)宣言の宣言者数(累計)(人)	2018		254,994	
	<b>2019</b>	<b>275,000</b>	<b>276,721</b>	<b>100.6%</b>
	2020	296,000	—	—
	2021	318,000	—	—
	2022	341,000	—	—

### B 循環型社会づくり

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 家庭から排出される食品ロス調査を実施したことがある市町村数(累計)(市町村)	2018		14	
	<b>2019</b>	<b>15</b>	<b>18</b>	<b>120.0%</b>
	2020	17	—	—
	2021	20	—	—
	2022	24	—	—
② かながわプラごみゼロ宣言に賛同した企業・団体・学校などの数(累計)(件)	2018		104	
	<b>2019</b>	<b>350</b>	<b>762</b>	<b>217.7%</b>
	2020	600	—	—
	2021	850	—	—
	2022	1,100	—	—

## C 大気・水環境の保全

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① PM2.5 の有効測定局のうち環境基準を達成した測定局の割合(%) ※実績値は、2020年7月末把握予定	2017		100	
	2018		100	
	2019	100	※	※
	2020	100	—	—
	2021	100	—	—
	2022	100	—	—
② 河川における環境基準(BOD)を達成した測定地点の割合(%) ※実績値は、2020年7月末把握予定	2017		100	
	2018		100	
	2019	100	※	※
	2020	100	—	—
	2021	100	—	—
	2022	100	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- 神奈川県環境基本計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f1023/>
- 神奈川県地球温暖化対策計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f417509/>
- 私たちの環境行動宣言 かながわエコ10トライ  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f160477/>
- 2017年度神奈川県内の温室効果ガス排出量推計結果  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/prs/r5195890.html>
- 神奈川県循環型社会づくり計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/p3k/cnt/f7178/>
- 大気環境・騒音振動・悪臭メニュー  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/taikimenu/index.html>
- 水質の状況  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/suisitu/joukyou.html>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ KPI「気候変動の影響への適応の関心度」、KPI「かながわプラごみゼロ宣言に賛同した企業・団体・学校などの数」の大幅な進捗は、県民・団体の意識の向上があると思われるため、意識向上後の対応に取り組む必要があります。
- ・ KPI「マイエコ10(てん)宣言の宣言者数」は、目標を達成していますが、集計の内訳(年齢層、居住地域等)を分析し、弱い部分に対して働きかけを強化し、取り組みの更なる浸透を図る必要があります。



柱 V	まちづくり	
	プロジェクト 23	

## プロジェクトの背景やねらい

県民生活の利便性向上や地域経済の活性化、安全・安心の確保とともに、リニア中央新幹線の開業によって、三大都市圏が約1時間で結ばれ、世界を先導するスーパー・メガリージョンが形成されることによる効果を広く波及させていくため、道路や鉄道などの交通ネットワークの充実が求められています。また、自動運転やドローンなどの進展する新たな技術の活用により、コミュニティの再生・活性化を支えるスマートモビリティ社会の実現が期待されています。

一方で、老朽化するインフラの戦略的なメンテナンスによる既存インフラの活用や都市機能を地域の実情に応じて集約化したコンパクトなまちづくりが求められています。そこで、「コンパクト+ネットワーク」の都市づくりの観点から、交流と連携を支える交通ネットワークの充実や、コミュニティの形成、活力と魅力あふれる強靱(レジリエント)なまちづくりの推進に取り組み、次世代に引き継げる持続可能な県土の形成を図ります。

### ▶ プロジェクトのねらいの達成に向けた具体的な取組みの柱

- ⇒ 構成施策A 交流と連携を支える交通ネットワークの充実
- ⇒ 構成施策B 活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進

## 指標の動向

- 「道路の渋滞がないなど、自動車県内各地へスムーズに移動できること」に関する満足度  
 < 県民ニーズ調査 >

2018年度	19.2%
2019年度	16.6%
2022年度(目標値)	20.0%

- インターチェンジまでの距離5km以内の地域の割合 < 県道路企画課調べ >

2018年度	86%
2019年度	89%
2022年度(目標値)	97%

## KPIの進捗状況

### A 交流と連携を支える交通ネットワークの充実

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 自動車専用道路などの供用箇所数 (計画期間中の累計)(箇所)	2018		—	
	<b>2019</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>80.0%</b>
	2020	13	—	—
	2021	14	—	—
	2022	14	—	—
② 1日当たりの平均利用者数10万人以上の鉄道駅におけるホームドアの設置 駅数(累計)(駅)	2018		13	
	<b>2019</b>	<b>19</b>	<b>17</b>	<b>89.4%</b>
	2020	20	—	—
	2021	20	—	—
	2022	26	—	—

### B 活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 市街地再開発事業の完成地区数(計 画期間中の累計)(地区)	2018		—	
	<b>2019</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	—
	2020	3	—	—
	2021	4	—	—
	2022	5	—	—
② 住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住 宅の登録戸数(総数)(戸)	2018		212	
	<b>2019</b>	<b>400</b>	<b>260</b>	<b>65.0%</b>
	2020	800	—	—
	2021	1,200	—	—
	2022	1,600	—	—
③ 道路施設(橋りょう、トンネル・洞門、横 断歩道橋、門型標識・門型道路情報 提供装置)の点検施設数(計画期間 中の累計)(施設)	2018		—	
	<b>2019</b>	<b>220</b>	<b>275</b>	<b>125.0%</b>
	2020	440	—	—
	2021	800	—	—
	2022	1,100	—	—
④ 河川構造物(堰・水門等)の長寿命化 計画に沿った計画的な維持管理施設 数(施設)	2018		25	
	<b>2019</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>100.0%</b>
	2020	25	—	—
	2021	25	—	—
	2022	25	—	—

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
⑤ 流域下水道の幹線管渠の点検延長 (計画期間中の累計)(km)	2018		—	
	2019	30.6	30.6	100.0%
	2020	53.4	—	—
	2021	77.7	—	—
	2022	100.0	—	—

## プロジェクトに関する取組みや統計データなどの情報

- かながわの道路事業に関する情報提供  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bd2/index.html>  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v2m/index.html>
- 環境共生モデル都市圏の形成  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/r8s/index.html>
- 邸園文化圏再生構想  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2n/cnt/f3670/index1.html>
- 神奈川県道路施設長寿命化計画  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n5h/cnt/f704/p1226164.html>
- 道路の老朽化対策(国土交通省)  
<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen.html>
- 「セーフティネット住宅」の登録について  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/zm4/kyojushien/sn-touroku.html>
- かながわ都市マスタープラン  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/a7k/cnt/f280/>
- かながわ交通計画  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/gd6/cnt/f7148/>
- かながわの住宅計画  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/zm4/cnt/f6631/>

## 総合計画審議会からの意見

- ・ KPI「住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅の登録戸数」は、実績値が伸び悩んでおり、県民への広報などをより一層取り組む必要があります。
- ・ 都市基盤整備への投資が限られていく経済状況において、既存ストックを効率的に活用し、維持管理していくための公民連携・役割分担・権限移譲等について、新たな仕組みを検討していく必要があります。



